



Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries of
Rotary International District 260

District 260 R.I. Governor

KOICHI OKUMA

c/o The Nagoya Kanko Hotel

1-19-30 Nishiki, Nakaku, Nagoya, Aichi, Japan 460

Phone: 052-231-7711 (Ext. 527)

国際ロータリー第260地区ガバナー 大隈 孝一

〒460 名古屋市中区錦1丁目19番30号 名古屋観光ホテル内 Phone: 052-231-7711 (内線527)

MANKIND IS ONE

Build Bridges of Friendship Throughout the World

世界中に友情の橋をかけよう

皆様へのお礼

ガバナー 大隈 孝一



いよいよ、ガバナーの任期もどうにか無事終了して、7月をむかえることが出来ました。ふつつかなガバナーでしたが、皆様の御協力に深く御礼申し上げます。

今年度の奥沢ガバナーとは、まだこの1年余のおつきあいですがまことに熱心で、しかもよく考えて活動される、立派な人物であります。

必ず、よりよい1ヶ年が展開されるものと信じて疑いません。

年度初頭にも申し上げましたが、世の中には、常に変えてはならぬものと、変えねばならぬものとがあり、時代の変化に応じて、うまく対処せねばならぬと、あらためて、痛感しております。

今後は、より簡素で、よりたのしく、より若い方々にも魅力のある、しかも、より思いやりや善意にみちたロータリーを目ざして、お互いに力を合わせて前進しましょう。

皆様、どうも有難うございました。



ローターアクトクラブの設立並びに指導について

地区青少年奉仕委員長 パストガバナー 川瀬 保

この2～3年来、私は第260地区内にローターアクトクラブ(R.A.C.)をふやすこと、並びにクラブの指導について微力をつくしてきた。おかげ様でクラブ数も少しずつふえて、地区内で11となったし、ほかに新クラブ設立の気運が熟しつつあるのも2～3ある。アクター数は地区全体で3百名程度である。

ご承知のように、青少年問題は決して日本だけの問題ではない。世界の一流国でどこもが弱り抜いている問題であり、日本はまだまだ軽い方だと言われている。

西ドイツに於けるこうした問題について、先般急死せられたヒルシュマイヤー氏(南山大学理事長、学長)は“西ドイツと日本”という本の中に詳しく述べて居られる。アメリカもひどいようだ。欧米の今日の姿が日本の明日の姿だ、とよく言われているが、青少年問題についてもそのことはピタリ当てはまるであろう。

新聞やテレビなどを見ていると、青少年問題をこのまま放置することは出来ない、と思う。それは、私だけでなく、およそ良識ある人なら誰でもが感じることであろう。しかるに“対策は?”となるとはかばかしい具体策はなかなか出て来ない。いまわれわれが青少年問題について無関心だということは、わが日本民族の将来に対してわれわれが関心を持たない、ということの意味するのである。

ロータリーは幸いにしてこうした問題に対して微力ながら奉仕することが出来る組織を持っている。ローターアクト、インターアクト、その他の青少年奉仕組織がそれである。われわれは、心構え次第でこうした奉仕組織をつくり、その運営を通じて青少年を善導し、日本民族の将来に少しでも明るい期待がもてるように努めたいと思う。

以上のような考え方からすると、ローターアクトを育成することは青少年奉仕のために一番手近かであり、また効果も大きいと思うのだが

現実には余り伸びていない。それは第260地区だけでなく、全国的に見て言えることである。

その理由はなぜだろうか。第一にあげるべきは、ロータリークラブの皆さんのR.A.C.に関する勉強不足である。私に関係のある或るR.C.でR.A.C.をつくるかどうかが取上げられたときに会議参加者十数名の半分位がR.A.C.について殆んど何も知らない、と言われた。

これではいかん、というわけで、クラブ内で勉強会が始まった。結果はどうであったか? 第一に、R.A.C.はつくることも、そのあとの運営も大変だ、大変だ、とばかり聞かされていたが、やる気になって取り組めばそれ程のことでもない、ということが判った。

第二に、クラブ内に“やろうではないか”といったムードが盛り上がってきた時に、一部の有力者から“やらんでもすむことなら手を出さぬが賢明”などと冷やかされると折角の気運もさめてしまう。

しかし、これら批判姿勢の方たちも、ことを分けてじっくり話し合えばよく理解し、むしろ協力姿勢になって下さる場合が多い。ロータリーの精神、奉仕の精神を生かしていくためには、やはり相応の努力が必要である。

次に、R.A.C.の設立並びに運営上の問題点を記述しよう。

(1) R.A.C.はその地域のロータリークラブが単独でもよいし、数クラブ合同でもよいが、スポンサー役をつとめ、青少年奉仕委員会とかR.A.委員会が新設R.A.C.のために指導的役割をつとめる。

(2) ローターアクターは、18才から28才までの青年男女であり、実例としては1クラブ当り20名～30名の場合が多い。大学生については、男女共年齢制限はない。

(3) 地域条件は極めて寛大で、例えば名古屋港R.A.C.は港R.C.が提唱し、市内の全R.C.が参加している。

(4) 例会は月2回。おおむね夕方6時から8時まで。夕食はクラブ負担でドンブリなど軽食ですます。

例会場は、使用時間が夜だから、ロータリアンの所属企業などから無料で借りている例が多い。

(5) 会費はアクター1人当月1千円から2千円位。これはアクターの所属企業が負担している場合が多い。

提唱ロータリークラブの負担は、年額40万から50万程度の場合が多い。

(6) R.A.C.をつくるとどんなメリットがあるのか、が問題だが、この点については、理屈を述べるよりは実例でお答えしたい。

私の会社から港R.A.C.へ出している2人の大卒社員を呼んで、R.A.についての見方、考え方を聞いてみた。嬉しかったことは、2人共極めて肯定的であり、アクトへ出して貰ったお蔭で他社の人たちと知り合いになり、何かと楽しいつき合いに発展した。自分たちはもう28才で間もなく引退せねばならぬが、その場合ぜひとも後がまを出してほしい、と言うので、私は“そのような礼讃は私の前だから言うのではないのか”

とつつ込んでみた所、“正真正銘の答です。何かのチャンスがあったら是非とも自分たちをR.A.の説明のスピーカーに使って下さい”と言っていた。

べつの例だが、R.A.では毎年海外旅行という形で20余名のチームを米国西海岸とか東南アジア等へ出しているが、そのレポート（全員が見聞録や所見を書く）が本当にすばらしい。団長にはローターアクトの第260地区代表（27～28才位）をあてることにしているが、20余名の青年男女をつれての旅を立派にこなし、海外視察と親善の実をあげている。

そのレポートを読んだロータリアンの中には、“立派だ。われわれロータリアンが恥かしい位だ”と述懐せられた方もある。

以上、多々述べてきたが、読者諸賢の中にもしも“一度ローターアクトについて話をききたい”といったお気持ちがあるようなら、私はどこへでも、またいつでもお邪魔して話し合いをしたいと念願しております。その場合はローターアクターを1～2名同道してとっくり話合いをして戴きたいと思っております。

IGFの大任をはたして



尾張第一分区代理 相羽 鋳一

1982～83ロータリー年度も大隈ガバナーをはじめ、伊藤地区幹事の綿密、周到なる運営よろしきを得て有終の美を飾ろうとしています。私も尾張第一分区代理として結構なめぐり合せで幸せでした。その上、格別なご指導をうけ無事大任をはたすことが出来ましたこと感謝しています。ここで趣味であるゴルフ談義でもと思ってペンを走らせています。近頃ゴルフ人口が増え結構なことですが、その増加に比例してゴルフのルール・マナーが低下しているのは、ゴルフ愛好家としてなげかわしい限りです。つい先日来日した同業のアメリカ人も、日本のゴルフコースの過密とゴルファーのマナーの低下に眉をひそめていました。どのスポーツにもルー

ルがあり、心ず審判がつきますが、ゴルフ競技だけは審判がつかず、同伴競技者をマーカーとしてプレーを進行させます。特に疑義が生じた場合のみ競技委員が裁定をします。そのためにルール以前の社会的な常識や、ルールを守らないと紳士的なスポーツとしてのゴルフの存在価値が失われてしまいます。

私も30年ゴルフをやり、その中で特に感じた点を列挙し、愛好家の方々が少しでも参考になればと僭越ですが筆をとった次第です。

(1) スタート時間には遅れないこと。

「〇〇さん、至急一番スタートへおいで下さい。皆さんお待ちです。」と呼び出されていますが、せめて10分前にスタートに居るよ

うなゆとりをもって出かけて下さい。ナイスショットはゆとりから。

- (2)ティグランドではお互いに静かにして、同伴競技者の邪魔にならないよう静かに見守りましょう。同伴競技者が打ち終わったら第2打の地点まで速やかに歩き、また、同伴者の飛球線を確認し、飛球線の前を横切らないようにされた方がよいと思います。どこのゴルフ場もキャディ不足のため、スリーバック、フォアバックでプレーしておりますので、必要と思われるクラブを2本か3本持ってゆき、「オーイ、キャディ何番持ってこい」と呼ばないように心掛けたいものです。なお、球は遠い順番に打って行くのが原則ですが、プレーの進行上球に到着順に打って行くのも許されるルールもあります(但し、公式競技は不可)。その場合危険のないように注意していただきたい。
- (3)グリーン上では、他人のラインを踏んだり跨いだりしないように心掛けたい。パター

・イズ・マナーといえます。ましてやお互いに競争し、ワンパットに全神経を集中するのに踏んだり、跨いだりは失礼です。ちなみにテレビで放映するゴルフ番組を見ましても、外人プロの約90パーセント、日本人プロの約60パーセントは確実に守っています。

- (4)「お風呂は貴方1人のもものではありませんよ」ラウンドされて大変お疲れのことと思いますが、下も洗わずそのまま「どぼん」と汗で汚れた体を浴槽に入れる方がいますが、こんな無作法は止めていただきたい。心身共に疲れた体を先づ洗場で綺麗に洗いおとし、湯舟にゆったりとつかうようにすれば最後の方でも綺麗な湯に入れます。

ごごめいた話になりましたが、自然の懐にいだかれ、自然と対話をしながら、心身共にリフレッシュできるスポーツも、エチケットとルール遵守から生まれます。

一年間のご厚情を 感謝して



尾張第二分区代理 福田 浩三

“何が一番ポイントをおかれしましたか？ 分区代理のお仕事の間に。”

6月19日の地区協議会に於ける昼食時の雑談のなかで、某氏から突然質問された。氏は他分区の次期分区代理である。

一瞬、私は何をポイントにしていたかなと思いをめぐらせたが、口をついて出たのは、“人間関係です。”という言葉だった。

そのあと考えたことは、人間関係とは一体何という意味だろう、何気なく使っているが、分ったような分らないような言葉だなということだった。

クラブ訪問、IGF、新会員研修会、分区内会長幹事会などが、分区代理として責任の重い行事であった。地区大会、二度の地区協議会、ロータクト大会、数クラブの周年記念式典、ゴルフ大会などには、楽しく参加させて頂いた。

そして、どこにも人と人とのふれあいがあった。人間関係が存在した。私はそれを大切にしていたのであった。その中に多くの教訓があった。ロータリーの基礎は、やはり人間関係であることも痛感した。

各クラブの会長幹事さん方には、本当にお世話になりました。IGFの瀬戸北、新会員研修会の尾張旭、ゴルフ大会の春日井・空港の各クラブの皆様、本当にご苦労さまでした。

大隈ガバナー、伊藤地区幹事、パストガバナー、パスト分区代理始め諸先輩には、適切なご指導を頂きました。

長いようで早かったこの一年、楽しかった思い出を浮かべながら、皆様のご厚情に深く感謝の意を表させて頂きたいと存じます。ありがとうございました。

分区代理に想う (御礼のことば)



南信第一分区代理 山岸 紫朗

昨年七月以降分区代理として、北は白馬クラブから西は木曽クラブ、南は富士見クラブまで11クラブの御手伝いをさせて頂いて早や1年を過ぎようとして居ります。

おこがましくもお引受けした分区代理の仕事、省れば長いようであわただしかった短い1ヶ年であります。

分区内各クラブへのガバナー公式訪問前と当日の訪問に始まり、ホスト塩尻クラブの絶大なるご協力によるIGFの主催等……。他の用事をやり繰りしながら、地区のスケジュールに合わせて曲がりなりにも今日まで大過なくその責を果たして参りました。

これはひとえに大隈ガバナーの温情溢れる御教導と御配慮のお蔭であり、加えて各ロータリアンの皆様の善意と友情の支えによるものと深く信じ、改めて厚く感謝を申しあげる次第でございます。そして私自身健康に恵まれたことも

大変有難く思っています。

例会にお伺いしてうれしく感じましたなかに、各クラブが夫々の地域に密着した活動を積極的に心掛けている状況が見受けられました。都市、農村共に古いクラブ、新しいクラブの差こそありますが、それなりに熱心に御努力を重ねられている様子などが強く印象に残っております。

又、ロータリーの特色の一つである、任期一年交替制を上手に活用されておられたクラブもあり、大層良い勉強になりました。

各クラブの皆様方には、私の任期中、御迷惑をお掛けした事、不本意な点多々あったかと存じますが、何卒ロータリーの友情に免じ寛容の精神をもってお赦しを賜りたいと願っております。

終りにロータリアンの皆様と、ご家族ご一同様の御健祥と御多幸を祈念申し上げて御礼のご挨拶と致します。

雑 感



三河第一分区代理 宮地 信尚

わが三河第一分区は愛知県の東に位置し、北は長野県に接する山岳地帯の奥三河であり、南は椰子の実の流れ寄ると歌われた黒潮おどる渥美の伊良湖岬である。山あり、川あり、海ありの変化に富み、気候温暖な風光明媚な土地であり、又NHK大河ドラマ「徳川家康」に登場する長篠の合戦を始めとして多くの旧蹟があり、また古く言い伝えられていることも多くあり、これ等を温かく郁くみ育てあげてきた素朴な土地柄であり、260地区の最南端に位置するところでもあります。

ここに9クラブあり、30年を過ぎた伝統あり、なおチャーターメンバーの方々が矍鑠として活躍しておられる豊橋クラブを始めとし、新しいク

ラブでも13年を経た奥三河クラブまで、その土地にとけ込み、それぞれの土地にあった奉仕活動を熱心に行っておられ、各クラブ内は和気あいあいと楽しくクラブ運営をやっておられるのには、誠に感心させられました。

各クラブの会長さん、幹事さんをみていて実によく勉強しておられ、前もって十分に計画され、準備されてクラブ運営をやっておられ、私がクラブの会長をやった時のことを思い出し、あの時は毎日毎日に追われ、勉強もせず、すべて幹事さん任せで、自主性もなく、無我夢中に事を済ませており、何時もながら私の無意無策のだらしなさに冷汗致しております。

幸いにも奥三河クラブは数年に亘り、外国人

に接することの少ない土地柄でありながら、非常によいアイデアで、全クラブ員が心から、毎年南山大学のイギリスの大学生の夏期講習生に対して、ホームステイを通じ、また中学生、高校生にも会って話し合う機会を与えて、熱心に国際奉仕を行っておられるのに、本年、国際ロータリーより「意義ある業績賞」を送られたことは、私にとって誠に光栄と存じている次第です。

I G Fにつきましても、私なりに色々と考えてみました。フォーラムのあり方については、2～3年前に滝沢パストガバナーが、ガバナーズレターにお書きになっておられましたが、各クラブの意見発表や討論をどのようにやれば、参加者、特に新入会員の方々が気楽に意見が述べられるであろうか、またその意見を各クラブではどのように考え、参考にされるであろうか、考えれば大変むずかしく、今迄の各分区代理も

非常に苦勞されたことであろうと思います。

今年の当分区のI G Fは前回のガバナーズレターに報告したようなものになってしまいました。

この一年、分区代理をやらさせて頂き、各クラブを訪問してみ始めて、各クラブのよいところが分り、奉仕活動にも色々あり、各クラブもそれぞれの特性があり、ロータリー活動も実に底の深いものがあることを知り得ましたことは、私にとり大変な勉強であり、この上もない人生経験であったと思います。

大隈ガバナーが常に言っておられるようにロータリーの会員は大半が忙しい人々であるにも拘らず、何時も何かお願いすれば必ずいやな顔一つせず何でもやって頂けるのには感心させられますと共に、本当にこれに甘えることなく常にこの忙しい会員のことを考えてクラブ運営をやるべきであると思つづく考えさせられました。

分区代理の 始めと終りと



三河第二分区代理 平岩 信三

初めにしぶしぶ乍ら御引受けした分区代理の此の一年間は長い期間だなと思っていたところ、その一年間があつという間に過ぎ、現在あと二旬で終わろうとしています。もう大きな会合としては、地区協議会を残すのみとなりました。三河第二分区の皆様をはじめ、私の接した多くのロータリアンの方々が私に示して下さいた数多くの友情に対して心から御礼申し上げます。私の所属している安城クラブは、今年丁度25周年になりますが、今自分がロータリークラブの会員であることを本当に有難いことだなと痛感しています。それは、

◎ロータリークラブの世界は善意の世界である

◎善根が善果を産み、善果が善根となり、又善果を産んで行く世界である。
からであります。1、2の実例を挙げて証明してみましょう。

①ある時、私が某クラブヘビジターとしてメークアップに行ったら、隣にいた他クラブのA

君が話してくれました。「私が東京クラブへ行った時、たまたまそのテーブルマスターが資生堂の会長で、職業を問われたので、実は私、化粧品屋ですが貴社の指定を受けたく再三申請書を出していますが、まだ資格が規準に達しないとみえてなかなかパスしませんと申し上げたところ、間もなく出頭しろというので、本社へ呼ばれ、すぐに資生堂のマークが頂けました。ロータリークラブの御蔭と思って、その後ますますお客様を大切に商っています」と。

②私のクラブのK会員の話

「僕がある時、東京の某ホテルへ泊った時、カウンターで保証金を取られたが、次に同じホテルへ泊った時、保証金を出そうとしたら胸のバッジを見て、『ロータリアンですね、保証金は戴かなくて結構です』だって。平岩君、ロータリーのバッジの偉力は大きいね。日頃はでたらめな生活をしている自分でも、このバッジに対して少しは姿勢を正さにゃいかんと思った」と。

今年しぶしぶ受けた分区代理ではありました

が、各クラブへ廻って、至る所で善意にぶつかり現世利益に接して思ったことは、

◎ロータリークラブの世界は観音信仰の世界である。ということでした。

お里・沢市のように、現世利益があろうと無かろうと、観音様を信ずる事によって心が救われるのと同じように、ロータリークラブに入っ

て多くの会員各位の友情と奉仕に接することが出来、これに報いるには今度は、自分自身が観音様の立場に立たなくてはならないと痛感すると共に、今は分区代理にさせて頂いたこと自体有難いことだったと思っています。

この一年間、皆様本当に有難うございました。

分区代理を終えて



東北信分区代理 矢島 謹一

分区代理の任期も終わろうとしている。

昨年7月就任以来、永い1年であった。しかし過ぎてみれば短い1年でもあった。

この1年、数多くの人々の温かい御指導や御協力をいただいて、大過なくすごし得たことはこの上もない幸いでした。

各クラブを廻って感じたことは、何れのクラブも熱心にロータリー活動が続けていることで、古いクラブも新しいクラブも、また、大きなクラブも小さいクラブも、夫々の特色をもって持ち味を活かして活動している。

自分のクラブ以外のおクラブの状況を余り知らなかった私自身が一番勉強になり、また参考にもなった。

東北信分区では、2、3のクラブを除いては、何れのクラブも会員増強に苦勞している。特に、設立後日の浅い新しいクラブでは、その地域に早くからライオンズクラブが結成され活躍しているところでは、なかなか会員増強が困難である。

会員が多ければ会の運営も楽になり、他の奉仕活動も多く出来る。古いクラブでも新しい会員が増強されなければ活性化はされない。この事は誰もが分っているがむずかしい。ここに各クラブの悩みがある。

国際奉仕活動にしても、相互理解が必要だ。相手を理解しても、相手に理解されなければなかなかうまくゆかない。交換学生の手入れについてもこの点に問題がある。金さえ出せばそれでよいと云うものではない。心のこもった奉仕

が必要だ。

この地区では、昨年長野クラブの努力により、東北信分区で初めてのローターアクトが長野市に誕生した。

260地区川瀬青少年奉仕委員会委員長より、いま1つのローターアクトの結成を要請され、上田地区を中心に上田クラブ、上田東クラブ合同で検討を進めて来たが、いまだ要請にこたえる事が出来なかったことは只1つの心残りであります。

いま1つの課題は、この頃の中野市で開かれたIGFでも話題になった分区の分割の問題です。クラブも13となると、分区代理の各クラブを廻っての実状把握がたいへんである。分区最北端の中野クラブより、南の南佐久クラブまでの距離は延々120~130kmにも及ぶ。分区の集会にもかなりの時間がかかる。分割となると、種類の問題も意見もあろうかと思われるが、いずれはその時期が来ると思うので、早い機会に研究討議の場をもつことが望ましいと思う。

1年間分区代理として感じたことを2、3申し上げ、今後の参考にといい書きました。

分区代理の職を去るに当たり、厚い御指導をいただいた大隈ガバナー、大変お世話になった伊藤幹事さんはじめガバナー事務所の皆さん、分区各クラブの会長、幹事さん、また、会員の皆さんに多大の御協力をいただいた事に対し心から感謝申し上げ、退任の御挨拶のことばとします。

新米ロータリアンの たわごと



南信第二分区代理 久保田 元次

この7月になってようやく満9才になると言う新米ロータリアンの私が、分区代理と言う大役を仰せつかって、まごまごしているうちにもう任期を終ることにになりました。

何のお役にも立てず、甚だ申し訳のないことだったと深くお詫びを申し上げる気持で一杯ですが、私個人としては、大隈ガバナーをはじめ数多くのすばらしい先輩ロータリアンにお目にかかり、ご指導をいただく機会に恵まれ、ロータリアンとしてと云うより、人間として、得難い勉強をさせていただいたことを心から感謝しています。

幹事さんから原稿紙4～6枚と云う紙面をいただいたので、分区代理としてでなく、実歴9年の新米ロータリアンが考えていることを書かせていただくことにしました。

私は大正半ばの生れで、この小さな島国で、仏教・儒教の思想の充満したアトモスフィアの中で育ちましたので、その外に立って物ごとを考えることが困難ですが、ロータリーに入会し少しづつ勉強するうちに、人間について、社会・国家・世界・人類について、いや森羅万象について、別な考え方が加わってきたような気がします。それはまだはっきり表現できるものではありませんが……。

私は、入会後間もなく、ロータリーのルールと、その中に流れる思想を知りたいと思って、定款や手続要覧やその他の本を読みました。

ロータリーが、ポール・ハリスと云う先哲の教えを絶対の金科玉条として、それを守ることを強いるようなものであったら、天の邪鬼の私は入りこまなかったと思います。

ロータリー創立当時のことが書かれたものには、ポール・ハリスが、決して自己の欲望を超越し切った聖人ではなかったことがのっており、そこには身近な「おやじ」を感じることができました。

手続要覧を読むと「23-34の決議」や「道徳

律」など、ロータリーの思想に関するものが記載されており、しかも、それ等が時代とともに変遷を経た経過が書かれており、すべて、ポール・ハリスの蒔かれた種をもとにして、我々の先輩達が造り育ててきたものであることを知りました。

「道徳律」は、幾多の変遷を経て、ついに消滅しました。それがよかったか悪かったかは別の問題として、こうした、ロータリーの思想に関することさえも、時代の移り変りとともに、我々の仲間のロータリアン達の真剣な討議によって変えられ、今も、今後もそうであることは非常に大切なことだと思います。

ロータリーは、拡大・増強と、身体の成長とともに、こうして「心」も成長して来たと思います。

大隈ガバナーがこの1年「このままでよいだろうか」「変えるべきものは変えよう」と叫んでこられたことを、私はこうした意味でも受けとめ、物・心ともに急変しつつある今の時代に、すばらしいご提唱だと思いました。

しかし、分区代理として、何のご協力もできないことを申し訳なく思います。

ただ南信、第二分区のIGFに、多少のルール違反を覚悟して、テーマを「職業奉仕」1本にしぼり、体裁ぶらず形にとらわれず、「本音」の討論を行ったところ、24名の会員達から、真剣な、すばらしい、しかも飾り気のない「本音」の発言があり、参会者もまた時間を忘れて聞き入り、ロータリアンがみな実に真剣に今の時代にロータリアンとしていかに対処するかを考えておられる実態に触れることができたことは望外の収穫でした。

このIGFの報告書は、大隈ガバナーからおすめをいただきましたので、地区協議会の職業奉仕部門の席で全クラブに配布します。参考にしていただければ幸いです。



やつあたり談義 （“ロータリーの友”の“投書箱”より）

ロータリーの友委員長 神谷 昭司

今、私の手もとに15冊のロータリーの友がある。最近15ヶ月のものである。

投書箱というところを全部読んでみたら面白い事に気がついた。というのは、思ったより、投書の内容が一つのアイテムに片寄っていることである。もっとも、投稿規定の中に、問題提起、問題提起への意見、回答などあるから、当然の事なのではあるのだが。

その中で、一番件数の多かったのは、“名刺に「ロータリアンの肩書」はいけないのか”という提起に対する5件にわたる論議である。順に見出しだけを並べると次のようになる。

“名刺にロータリアンの肩書は支障なし”

“名刺にロータリアンの肩書は不賛成”

“名刺表示と使い方”

“クラブ名の肩書のある名刺を使用中”

“どこで会っても名刺を交換しよう”

見出しを見ただけでは、どちらがどうなのかわからない様だが、R.I.細則に、クラブの名称を商業上の目的に利用する事を禁止した条項がある事から論議が起っている。賛成の側は、商業用に使わなければ、使ってもよいではないか、世の中は変って来ているのだから、何時までも形式的な事ばかり言うなという論と、実務的な面から、クラブ、あるいは地区の役職のついた名刺は必要であるし、細則にはふれないという論とである。不賛成の側は、ロータリアンであることは、職業的地位や社会的資格ではないのだから、これを肩書にするのは名刺本来のスタイルに馴染まないという、ロータリアンとしての良識を基調にした論である。何かてれくさくて、ロータリーの役職の名刺を一度も作った事のない私自身にとっては、投書箱の上での論議では少数派の不賛成側に共感を覚えるのだが、果して皆様はいかがお考えか。

次に目についたのは、

“味けない〇〇会員という呼び方”

“〇〇会員という呼称は味けないに同感”

この〇〇会員と呼ぶことの起りは、ロータリー公用呼称の如くなっている〇〇君によるものであろう。“君”というのは、言葉本来の意味がどうであろうと、これを年下の者から年上の人へ使うのは、ロータリアンとして同じだからといって、馴染むものではない。長い間クラブ内で最年少であった私にとって、このロータリーの“君”程馴染めない言葉はなかった。今でも公式行事となると、とたんにガバナーも“君づけ”になる。誰がどこでどう決めたのか知らないがもういいかげんで、“君”はやめて“さん”にしたらどんなものか。

つづいての論議は、

“「分区代理」という名称を変更せよ”

“分区代理はガバナー代理と呼称すべきだ”

“分区代理という呼称について”

一番最初の場合は、手続要覧の上では、分区代理は非公式で、何も権限を持たないガバナーの陰の人、単なる連絡員である。だからといって、一年間忙しい思いをし、責任も重いのに、“代理”などと主体性に欠ける名称ではおかしい。“分区代表”としろというものである。二番目は見出しの通り。三番目は、英語を日本語に訳すことの問題点、投稿者の実務経験から得た“真の適訳はない”という考えに基いて、“分区代理”という、いまのままの呼称で、その職務権限内容を成可く多くのロータリアンに把握してもらえる様にすべきという論である。

ロータリアンは、かく歩くべきであると歩き方の練習までさせた分区代理ならぬ文句代理がいたという伝説があるが、これは極端な例で、ほとんどの方が、手続要覧の記述と、現実との喰い違いを文字通り奉仕の精神で埋めておられる。ところが一方、あのはげしい仕事であるガバナーにでさえ、地区幹事が正式につけられ始めたのは、そんなに古い昔の事ではない。現在のパストガバナーの多くの方が、地区幹事なしで仕事をされていた。しかも、その頃から分区

代理の定義は、手続要覧にあって、同時にガバナーは、一切その仕事を他にまかせてはならぬという意味の事が、くどく書かれていたし、今も続いているはずである。分区代理は、あくまでガバナーの陰の存在とされているのである。そのくせ、IGFを主となってやれともある。それとても、ガバナーの意向のもとに行うことは、当然の事である。仕事は大変で、地位は陰。だから名前を替えて日向へ出せというのは分らないではないが、これが奉仕というものと考えるのが、ロータリアンとしての良識ではないだろうか。四角四面に規則にはめようとするつもりはないが、最近“陰”に幹事や書記がつく様な風潮が出ていると聞く。分区代理の為の分区幹事の様なものは、どこを探しても見当たらない規則である。規則は、運用の妙によって生きるというけれども、運用の妙は行きすぎると、規則の無視につながり、やがては組織を害する様になるのではないだろうか。だが、現実問題として分区代理は多忙である。ガバナーはもっとお

忙しい。規則通りで、その解決策があるのかと問われれば、「ある。」と答えざるを得ない。“地区の分割”がそれである。「海と山とが別れると、地区大会のエクスカッションがつまらなくなる。」という様な論議まで入れて、多くの問題があるであろうが……。それにだって、連合地区大会という手もないわけではない。

このままにしておけば、やがて分区代理の代理が、何時の間にか出来ぬとも限らない。

しかし、もう一つ案がないわけではない。現ガバナーは、思い切った地区委員構成の縮少をされた。忙しい人のペースに合わせろとも言っておられる。絶対にやらなければいけない事だけを規則に従ってやって、他は一切省くとしたら何が起るのであるだろうか。各クラブの行事に日曜までもガバナー、分区代理を引張り出す様な事を減らす事で事情は大きく変わるのではないだろうか。今や、種々な面で、ロータリー運動は再考の時にある様である。

おめでとう			
ポール・ハリス・フェロー			
6月7日	神谷 元治君	(西 尾)	6月15日 太田 都雄君 (白 馬)
6月7日	磯貝 忠利君	(西 尾)	6月23日 大竹 寿君 (飯 田 南)
6月7日	中嶋 敏雄君	(西 尾)	6月23日 加藤 鈔君 (瀬 戸)
6月7日	杉浦 義夫君	(西 尾)	6月24日 八田 義男君 (松 本 南)
6月7日	山田 廉平君	(西 尾)	6月27日 奥沢 俊一君 (松 本 南)
6月8日	森島 昭二君	(半 田 南)	6月27日 小山 武士君 (長 野 南)
6月8日	田口義嘉寿君	(名古屋西)	6月27日 中島 英夫君 (長 野 南)
6月8日	武田 宏君	(新 城)	6月30日 今井 章雄君 (岡 谷)
6月8日	松井英治郎君	(豊 橋)	6月30日 花岡 孝光君 (岡 谷)
6月8日	佐藤 茂君	(豊 橋)	6月30日 小沢 一雄君 (岡 谷)
6月14日	小川 充盈君	(春 日 井)	6月30日 岡田 互君 (奥 三 河)
6月14日	山内 孝弘君	(春 日 井)	

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

6月16日 ヨハネス・ヒルシュマイヤー君
(名古屋東)
6月24日 道家 一男君(名古屋和合)
6月25日 中嶋 幸一君(岡 崎 南)
6月28日 松岡 忠男君(一 宮 北)

昭和58年6月度

分區別会員数及び出席率

昭和58年6月最終例会日現在

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半田	63	96.04	5	65	－2
	半田南	43	98.81	4	43	0
	東知多	44	95.45	4	46	－2
	名古屋東	207	96.11	4	211	－4
	名古屋北	92	99.45	4	93	－1
	名古屋北	96	99.73	4	97	－1
	名古屋北東	51	100.00	4	51	0
	名古屋南	54	100.00	4	54	0
	名古屋港	114	99.20	5	116	－2
	名古屋瑞穂	103	99.74	4	104	－1
	名古屋瑞穂	60	99.70	5	60	0
	名古屋守山	79	98.32	4	79	0
	名古屋中	94	97.75	4	94	0
	名古屋西	132	99.36	5	135	－3
	名古屋東南	80	100.00	5	82	－2
	名古屋和合	76	100.00	5	77	－1
	東海	48	98.31	5	50	－2
	常滑	56	99.55	4	57	－1
	名古屋千種	47	97.87	4	47	0
	19C	1,539			1,561	－22
尾 張 第 二 分 区	あま	73	99.32	4	72	＋1
	尾西	53	98.80	4	53	0
	一宮	82	99.36	4	82	0
	一宮北	73	99.66	4	77	－4
	稲沢	52	100.00	5	52	0
	犬山	75	100.00	4	75	0
	岩倉	30	98.38	4	30	0
	春日井	82	100.00	4	82	0
	小牧	65	99.69	5	65	0
	江南	65	100.00	5	65	0
	名古屋空港	68	98.11	4	67	＋1
	西春日井	70	98.57	4	70	0
	尾張旭	48	100.00	4	48	0
	瀬戸	76	99.21	5	76	0
	瀬戸北	51	99.02	5	50	＋1
	津島	71	100.00	4	72	－1
	16C	1,034			1,036	－2
三 河 第 一 分 区	渥美	57	92.97	5	57	0
	蒲郡	65	94.27	4	72	－7
	奥三河	52	96.64	4	52	0
	新城	47	98.40	4	47	0
	原	65	93.05	4	64	＋1
	豊橋	117	99.62	5	112	＋5
	豊橋北	101	98.38	4	101	0
	豊橋南	68	100.00	4	68	0
	豊川	78	97.55	5	79	－1
	9C	650			652	－2

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減
三 河 第 二 分 区	安城	72	99.31	4	72	0
	碧南	68	99.10	5	70	－2
	一色	52	91.54	5	54	－2
	刈谷	83	98.61	4	85	－2
	西尾	73	98.82	4	75	－2
	岡崎	88	99.23	5	88	0
	岡崎東	57	94.55	5	60	－3
	岡崎南	77	99.53	4	78	－1
	高浜	43	97.02	4	44	－1
	豊田	87	99.53	5	88	－1
東 北 信 分 区	豊田東	55	99.26	5	55	0
	豊田西	73	100.00	4	73	0
	12C	828			842	－14
	輕井沢	41	98.69	4	41	0
	小諸	54	95.00	4	55	－1
	丸子	40	89.80	5	39	＋1
	南佐久	27	95.37	4	27	0
	長野野	88	98.05	4	94	－6
	長野野	72	96.86	5	72	0
	長野野	31	96.90	4	33	－2
南 信 第 一 分 区	中野	46	94.38	5	46	0
	佐久坂	37	90.72	5	37	0
	須坂	42	95.00	4	42	0
	戸倉上山田	38	100.00	4	38	0
	上山田	59	99.50	4	60	－1
	上田東	50	98.75	5	50	0
	13C	625			634	－9
	茅野	26	93.84	5	26	0
	富士見	33	85.82	5	33	0
	白馬	41	95.00	4	41	0
南 信 第 二 分 区	木曾	49	85.44	4	48	＋1
	松本	74	100.00	5	75	－1
	松本南	76	100.00	4	78	－2
	松本西南	47	97.87	4	47	0
	岡谷	61	96.72	4	61	0
	大町	59	94.48	5	59	0
	塩尻	40	98.75	4	40	0
	諏訪	60	94.58	4	61	－1
	11C	566			569	－3
	飯田	84	100.00	5	82	＋2
南 信 第 二 分 区	飯田南	73	100.00	4	74	－1
	飯田島	33	100.00	4	35	－2
	飯田那根	82	98.68	5	82	0
	駒ヶ根	60	100.00	4	61	－1
	松川	51	97.54	5	51	0
	箕輪	32	91.41	4	32	0
	箕輪	49	100.00	5	49	0
	8C	464			466	－2
	計	88	5,706		5,760	－54

88クラブ全会長の一言

——本年度ビッグニュース等——

尾張第一分区

●半田R.C. (岡戸伍次会長)

- ①交換留学生として、アメリカよりローラ嬢を受け入れた。
- ②世界大会へ家族含め10名出席。
- ③当クラブより分区代理選任。

●半田南R.C. (森島昭二会長)

親睦会の出席率が非常に良好。当初の目的の友愛の輪も相当に浸透していると思われる。このムードを大切にしたい。

●東知多R.C. (村瀬富太郎会長)

大府市、東浦町、阿久比町の一市二町にわたる530運動が秋、春に盛大に行われ、新聞に大きく報道されました。定着した地域奉仕になりました。

●名古屋R.C. (盛田家弘会長)

大隈ガバナーを出させて頂き、各クラブの皆様からの多大のご支援、有難うございました。

●名古屋東R.C. (石塚直隆会長)

千種クラブをスポンサークラブとして発足させた事と、その為にクラブの新規会員の獲得が難しくなった事。この事について考える必要がある。

●名古屋北R.C. (加藤寛一郎会長)

エスカレートする一方の地区大会を、簡素で、内容豊富に、楽しくと、大隈ガバナーのご指示通り、ある程度実現し得た事です。

●名古屋名北R.C. (吉村卯一郎会長)

本年度も創立以来100%の出席率を維持した事、会長としてクラブ内の和を保つ事が出来、又、会員増強もほぼ計画通り達成し得た。

●名古屋名東R.C. (沢田周次会長)

創立5周年記念事業の一環とし、非行少年防止の為、名東区内の中学校で青少年健全育成対話集会を多数参加の下に行い、大変有意義であった。

●名古屋南R.C. (野垣茂吉会長)

地区青少年委員長・川瀬氏の要請により、南・東南・瑞穂の3R.C.が協同で、ローターアクトクラブを目下設立準備中。

●名古屋港R.C. (吉田武雄会長)

永続的な低成長下におけるR.C.の奉仕、活動、運営については困難な点が多く、特に会員減少の傾向の為、会員増強に苦勞をしました。

●名古屋瑞穂R.C. (丹羽長典会長)

会員増強、会員選考に当り職業分類未充填に注目するのは勿論であるが、今後はクラブの若返りを考え、年齢構成表を作製した。

●名古屋守山R.C. (服部広史会長)

ロータリーの活動は、ただモノやカネを与えるだけに終りがちですが、それではいけないと守山V.C.の加藤良一会長(大学生)や加藤小百合さん(高校生)など若者14人を招き、夕食を共にしながら話し合いました。

●名古屋中R.C. (加納 泉会長)

中期ビジョン委員会の設置による単年度に偏向しがちな方針の是正。小冊子「職業奉仕を考える」の発刊によるその理解と実践の啓蒙。

●名古屋西R.C. (内藤明人会長)

向笠R.I.会長の「世界に友情の橋をかけよう」の主旨に沿い、当クラブとハワイのワイキキR.C.と姉妹クラブの提携が成立しました。

●名古屋東南R.C. (斎藤 晶会長)

当クラブ推薦の奨学生・松尾葉子さんがフランスのブザンソン市における国際音楽コンクール指揮者部門で見事優勝。天にも昇る心地。

●名古屋和合R.C. (蜂谷弘道会長)

講演(ミーイズムからユーイズムへ)と電光掲示板による新しいユニークなトレーニングシステムによるI.G.F.の開催。

●東海R.C. (本内静夫会長)

平々凡々事業計画を順調に消化、財団寄与目標突破、交換学生継続とし、青少年奉仕は活発であったが、会員増強が達成出来ず残念。

●常滑R.C. (片山栄一会長)

熱海MOA美術館への一泊家族会には51名、又、南極探險船しらせの見学にも多数参加を得ました。交換学生等はやり残した感じです。

●名古屋千種R.C. (水野民也会長)

クラブ創立の話が出て1ヵ月、創立総会、1週間後に認証、チャーター伝達式には名フィルによる「手に手つないで」の合唱はすべて地区初めてのことばかり。国際大会への16名参加も珍しい。

尾張第二分区

●あまR.C. (小野 實会長)

地区協のホストクラブとして、全員が奉仕の精神に燃え、それぞれの役割を果たし得た事。

●尾西R.C. (水谷晃一会長)

あまりよいニュースではないが、元会員や現職会員の相次ぐ訃報に接し、誠に残念に思った。幹事、各委員長の協力のお蔭で我ながら充実した一年であった。

●一宮R.C. (加藤敏夫会長)

ローターアクト年次大会が極めて盛大に、かつ実り多い成果を得た事は、地区内ローターアクトの将来に好ましい影響を与えた。

●一宮北R.C. (荻本鉄夫会長)

当クラブ創立20周年に当り、3月15日、一宮スポーツ文化センターに大隈ガバナー始め、多数のご来賓の出席を賜わり、盛大に式典を済ませました。

●稲沢R.C. (伊串 惇会長)

- ①毎月第一例会は立食例会。
- ②ロータリー情報委員会主催によるロータリー研修会開催。
- ③野外バーベキュー家族会開催。

●犬山R.C. (高木淳二会長)

姉妹提携クラブである台湾草屯扶輪社との協力で今年も8月5日～8日迄犬山地区の選抜青少年達を派遣し、国際親善交流を深める予定。

●岩倉R.C. (大野義彦会長)

3月下旬、姉妹提携1周年を記念して当クラブ会員と夫人が多数台湾北斗R.C.を表敬訪問した折、熱烈な歓迎を受け、大変感激しました。

●春日井R.C. (林 貞吉会長)

- ①10月14日、尾張第二分区合同ゴルフ大会、136名参加。
 - ②5月28日、空港R.C.との合同理事役員会実施。
- 小牧R.C. (牧尾良運会長)
- 出席率ほぼ100%達成。恒久的なクラブの根拠地としての例会場の設定。徐々に平均年齢も若返り、活気と和氣に満ちた一年でした。

●江南R.C. (森 重男会長)

当初重点目標①友情と和を深める②潮州クラブ(台湾)との姉妹提携更新③身障者慰問を掲げ、これを遂行できたことに感謝している次第です。

●名古屋空港R.C. (加藤龍彰会長)

本年度尾張第二分区代理を指名され、分区代理の活躍により、活力ある奉仕活動が出来、愛知県知事から感謝状を受けました。

●西春日井R.C. (後藤一郎会長)

国道22号線に時計塔建設寄贈(名岐バイパス)、古城地内に建設を計画、建設省に許可を取る為苦勞す。同塔は国内では唯一ヵ所である。

●尾張旭R.C. (佐伯恭二会長)

尾張第二分区全16R.C.最後の新人研修会のホストを無事終える事が出来、ガバナー・分区代

理並びに各クラブのご友情に、心より感謝致します。

●瀬戸R.C. (加藤鋈吾会長)

瀬戸市文化センターの竣工に際し、その一部に来年8月に迎える創立25周年の記念事業として、瀬戸北R.C.と連名で時計塔を贈った。

●瀬戸北R.C. (加藤昌平会長)

I.G.F.をホストした事、大変でしたが、創立以来初めてロータリーの仲間入りが出来た。他にカナダのアビュータスとの姉妹クラブ成立です。

●津島R.C. (児玉秀雄会長)

「創立30周年記念行事」この機に一層気を引き締め、先人の残した遺稿や文化を守り、更に友情を深めて奉仕の理想実現に努力したい。

三河第一分区

●渥美R.C. (辻村太郎会長)

「ロータリーの友」3月号に当クラブの紹介記事が取り上げられた事、4月にI.G.F.のホストクラブ会長を無事終了出来た事などです。

●蒲郡R.C. (藤田芳男会長)

年度初めの9月13日、伊藤会長(当時)が急逝しました。対応に追われる私共クラブに寄せられたロータリーの友情に感謝します。

●奥三河R.C. (岡田 互会長)

「意義ある業績賞」「県福祉協会表彰」「設楽警察署署長表彰」等を受賞。大隈ガバナー、森バーストガバナーに格別な御指導を頂き感謝。

●新城R.C. (鈴木照彦会長)

クラブ創立以来、第一目標のクラブ会員数50名に今一歩と、私の人生に楽しい思い出を与えて戴いた皆様方に深く感謝申し上げます。

●田原R.C. (石黒功三会長)

地域青少年の健全育成を目標に、ローターアクトを通じ、地域の青少年に呼びかけ、「青少年と語り合う会」を行いました。

●豊橋R.C. (佐藤 茂会長)

①33年前のチャーターメンバーによる模擬例会の開催。

②家族会でメンバーによる舞踊「白鳥の湖」の狂演。

●豊橋北R.C. (神谷邦雄会長)

本年度地区財団委員長より要望の財団支援寄附につき、完全に目標達成しました。年初3700%クラブから4300%になりました。

●豊橋南R.C. (福井修平会長)

サン・ファンR.C.(比国)との教師交換計画も無事完了。会員増強や会計収支もほぼ計画通りとなり、お蔭様で一年が終了しました。

●豊川R.C. (山口修一会長)

豊川R.C.ではこのほど公園整備の植樹に“淡墨の桜”を寄贈、岐阜県根尾村から、会員の熱意に答え、株分けして戴いたものです。

三河第二分区

●安城R.C. (中村登一郎会長)

国際性のある一年でありました。創立25周年の記念例会に南大ヤンスイングドー教授を迎えたり、交換学生を受け入れたり送り出したりしました。

●碧南R.C. (小笠原規吉会長)

当クラブは、1982～83年度の行事を思い切って縮少し、経費を節約した。この分59年4月の25周年記念に集中して効果を上げたい。

●一色R.C. (高須邦治会長)

U.S.A.サンフランシスコ隣りサンリアンドロR.C.と8年前から交流しています。

●刈谷R.C. (原田梅治会長)

1983年6月6日、会員9名、夫人8名の計17名で渡加し、ミササガR.C. (オンタリオ州ミササガ市)との姉妹締結に調印する。

●西尾R.C. (神谷元治会長)

本年度、当クラブは25周年を迎え、これを祝い、意義ある記念事業と式典をクラブ全員の協力により盛況に行うことが出来ました。

●岡崎R.C. (八田己代二会長)

米国リンカーン・ジュニア・ハイスクールの先生、生徒30人を迎え、市長を始め来賓を招いて歓迎例会を行った。友情の橋の一端となれば幸です。

●岡崎東R.C. (落合鎌市会長)

当クラブは本年度10周年を迎える事になり、5月1日に式典と記念行事を行いました。初心に帰るべきと痛切に感じました。

●岡崎南R.C. (富山紫峰会長)

昨年秋、ニューポートバルボアR.C.より9名の方々を迎えて歓迎例会を開催したが、今年5月に当方より17名の訪米団を送り提携促進中。

●高浜R.C. (神谷久弥太会長)

情報委員会主催にてロータリークイズを毎週提供、年間を通じて180問中156問正解で森五六郎会員が優勝、殆ど全員が参加。

●豊田R.C. (愛知鋸郎会長)

子クラブと孫クラブを作った為、当クラブの区域限界について将来の為に熟考する必要があると存じ、クラブとして重要事項に取り上げました。

●豊田東R.C. (山内清八会長)

肩すりよせていた例会場を去り、明るく広い例会場に変り、心気一転クラブ活動に励みたいと思います。皆様方の御友情をお願いします。

●豊田西R.C. (山田良一会長)

当クラブ初の交換学生受入れ、送り出しを行い、学生を通じて市町村長、学校と交流し、ロータリーの活動を認識してもらい、評価を得た。

東北信分区

●軽井沢R.C. (大塚 久会長)

公益信託「軽井沢ゲーム学生交流基金」が成立以来、毎年ニコニコボックスより拠出され、5年目の今期に金1,000万円の大台に達した。

●小諸R.C. (松井兵右衛門会長)

社会奉仕で駅前ロータリーに太陽電池の三面表示時計塔と体育館に競技用タイムウオッチ(表示用)を、国際奉仕では米山奨学生を招待した。

●丸子R.C. (升花 肇会長)

日本では初めて国際ロータリー世界親睦活動の一環としてI.S.F.R.スキー日本ウィークを2月に軽井沢苗場スキー場で開催致しました。

●南佐久R.C. (新津敏雄会長)

台風10号は大量の風雨で南佐久地方に34年災害以来の被害を与えました。会員の中にも3名の被害者があり、心ばかりのお見舞をお渡ししました。

●長野R.C. (澤田純三会長)

本年度当クラブの主な事業は創立20周年記念事業の実施です。内容は(1)物故会員の慰霊法要(2)ロータリーアクトの創設(3)ロータリー財団への寄附の積極的展開(4)記念式典の実施、以上です。

●長野東R.C. (笠井邦夫会長)

①3月、カナダへ交換学生を送り、8月にカナダより受け入れる。

②財団奨学生を来年イタリアへ送る。

③次年度東北信分区代理を当クラブより。

●長野南R.C. (新村 明会長)

発足間もないクラブでしたが、交換学生の派遣と受入れを2名行った事、ロータリー財団派遣留学生に中山峰治君が決定した事です。

●中野R.C. (牧 虎喜会長)

満10才の誕生を迎え、記念式典、記念誌発行、安協への広報車寄贈の記念事業を行いました。これを契機に益々頑張る所存です。

●佐久R.C. (柳沢迎善会長)

5周年式典を行い、隣接クラブ会員と交流・親睦が深まり、会員夫人方にも内容を理解していただき、益々の活躍が出来ると思います。

●須坂R.C. (神林繁治会長)

青少年の非行防止卓話シリーズとして警察署や弁護士、小学校長、中学校長、婦人警官等、それぞれの立場での卓話を聞きました。

●戸倉上山田R.C. (斎藤康平会長)

1983～84年度にクラブ創立初めて交換学生1名を受け入れ決議し、その準備の年となった。

●上田R.C. (武田兵助会長)

昭和46年より、青少年の健全な育成を願って、積立を続けている善意基金が、青少年非行防止の一助として、フィルムと映写機を寄附。

●上田東R.C. (塚原新一会長)

創立5周年を迎え、ポールハリス・フェロー11名、米山功労者6名、シニアアクティブ12名。親睦の輪は末広がり、益々意気軒昂！

南信第一分区

●茅野R.C. (浜 清会長)

ブラジルよりの交換学生のアドリアーノ君が東海三高にて柔道の練習を積み初段を取得、もちろん日本語も黒帯級実力OK。

●富士見R.C. (平出敏彦会長)

チャリティーバザール開催、2,000人余来場、大盛況、広報に貢献した。10周年記念に時計塔と白樺・桜を植樹、「ロータリーの森」と命名す。

●白馬R.C. (山崎 勉会長)

5年間にわたり、韓国・漢城R.C.よりスキー少年団の受け入れに協力し、感謝状と楯を戴きました。

●木曽R.C. (吉村章次会長)

1月25日、帰国した交換学生グレック君のお父さんアレン・パートンさんを迎えての新年宴会。6月14日、同じくケリーさんが友人2人と共に来訪。

●松本R.C. (清水武吉会長)

2月11日、渥美R.C.提供のキャベツ5,000個を3R.C.共同事業でチャリティーセールを行い金235,341円を松本市へ贈りました。

●松本南R.C. (奥澤俊一会長)

「今週の顔」と称し、例会時に会員の額入り写真を贈呈、寸話(自己紹介等)をお願い、ニコボックスへ。只今極めて好評。

●松本西南R.C. (塚田吉治会長)

1983年度R.I.第260地区年次大会のホストクラブに決定。若く小さなクラブですが、松本平4R.C.の協力で秋に向けて準備中、ご期待を。

●岡谷R.C. (今井章雄会長)

諏訪湖の清掃奉仕に、先輩会員や家族が多数参加した事。530運動の啓発の為、市内全小

中学校生徒に鉛筆を贈った事等々。

●大町R.C. (塩入清博会長)

祭日を利用して会員の夫人を招いてロータリーをより以上理解と相互の親睦を深める目的で夫人を対象に通常例会同様に行いました。

●塩尻R.C. (小松善作会長)

親睦委員会の提唱で、会員夫人による婦人部の結成をみた事は、益々親睦の実を上げる事が出来、信頼感が増してきたと思われる。

●諏訪R.C. (小口貴弘会長)

カナダより交換留学生キャサリン・パーバスさんを迎え、諏訪クラブで1年間お世話を致し、去る7月5日、無事帰国されました。

南信第二分区

●飯田R.C. (永井靖人会長)

飯田R.C.(創立27年)と飯田南R.C.(創立17年)が初めて合同例会を持ちました。理解と友情が深まり有意義でした。

●飯田南R.C. (長坂好忠会長)

青少年非行防止広報資料として「正しいしつけをするための親の反省35訓」を印刷し、近隣小中学校へ配布。大変好評であった。

●飯島R.C. (熊谷初男会長)

新会長が突然入院してしまい、理事会によって副会長が兼務する事になりましたが、初例会が淋しいものでした。しかし、2人の新会員が入会しました。

●伊那R.C. (金原信郎会長)

本年度は米山功労章を受章致しました。将来も寄与率の向上に努力し、奉仕を目指したいと思います。

●駒ヶ根R.C. (林 朝昭会長)

当クラブが育成してきたボーイスカウトは今年20周年を迎えたので、新たにガールスカウトを作り、7月17日に認証発団式をしました。

●松川R.C. (萩森勝則会長)

4月24日に創立15周年記念式典を開催、地域の公共施設に卓球台7台、放送設備一式、楽器一式寄贈と共に、桜、銀杏を植樹した。

●箕輪R.C. (小口謙治会長)

青少年健全育成の一環として、箕輪R.C.が支援しているボーイスカウト箕輪第1団育成の為のスカウトハウスの建設に着手しました。

●辰野R.C. (三沢茂雄会長)

ともすれば薄れかけていた家族親睦会が、毎年150名を越えて、いずれも成功裡に4回も出来た事。

地区年次報告

① 公式訪問

訪 問 日	ク ラ ブ 名	訪 問 日	ク ラ ブ 名	訪 問 日	ク ラ ブ 名
1982年 7 月 9 日(金)	名 古 屋 北	1982年 9 月 2 日(木)	名古屋東南	1982年10月29日(金)	諏 訪
〃 7 月12日(月)	豊 橋 南	〃 9 月 3 日(金)	塩 尻	〃 11 月 1 日(月)	あ ま
〃 7 月13日(火)	西 尾	〃 9 月 6 日(月)	長 野 南	〃 11 月 6 日(土)	蒲 郡
〃 7 月14日(水)	岡 崎	〃 9 月 7 日(火)	長 野	〃 11 月 8 日(月)	上 田
〃 7 月16日(金)	尾 張 旭	〃 9 月 8 日(水)	長 野 東	〃 11 月10日(水)	渥 美
〃 7 月17日(土)	名古屋守山	〃 9 月10日(金)	新 城	〃 11 月15日(月)	駒 ケ 根
〃 7 月20日(火)	木 曾	〃 9 月13日(月)	松 本 南	〃 11 月16日(火)	飯 島
〃 7 月21日(水)	辰 野	〃 9 月14日(火)	松本西南	〃 11 月17日(水)	飯 田
〃 7 月22日(木)	伊 那	〃 9 月16日(木)	豊 田	〃 11 月18日(木)	松 川
〃 7 月23日(金)	箕 輪	〃 9 月17日(金)	春 日 井	〃 11 月19日(金)	飯 田 南
〃 7 月29日(木)	半 田	〃 9 月18日(土)	東 知 多	〃 11 月22日(月)	名 古 屋 東
〃 8 月 3 日(火)	豊 橋 北	〃 9 月21日(火)	名古屋名東	〃 11 月25日(木)	丸 子
〃 8 月 4 日(水)	名古屋和合	〃 9 月22日(水)	東 海	〃 11 月26日(金)	戸倉上山田
〃 8 月 5 日(木)	江 南	〃 9 月28日(火)	白 馬	〃 11 月29日(月)	名古屋空港
〃 8 月 6 日(金)	名 古 屋 港	〃 9 月29日(水)	大 町	〃 11 月30日(火)	高 浜
〃 8 月 9 日(月)	尾 西	〃 9 月30日(木)	松 本	〃 12 月 1 日(水)	稲 沢
〃 8 月10日(火)	岩 倉	〃 10 月 4 日(月)	軽 井 沢	〃 12 月 2 日(木)	名古屋瑞穂
〃 8 月11日(水)	名 古 屋 南	〃 10 月 5 日(火)	南 佐 久	〃 12 月 6 日(月)	刈 谷
〃 8 月17日(火)	犬 山	〃 10 月 6 日(水)	上 田 東	〃 12 月 7 日(火)	半 田 南
〃 8 月18日(水)	豊 田 東	〃 10 月 7 日(木)	佐 久	〃 12 月 8 日(水)	名古屋名北
〃 8 月19日(木)	豊 橋	〃 10 月 8 日(金)	小 諸	〃 12 月10日(金)	田 原
〃 8 月20日(金)	一 宮 北	〃 10 月12日(火)	瀬 戸 北	〃 12 月15日(水)	豊 川
〃 8 月21日(土)	一 宮	〃 10 月14日(木)	中 野	〃 12 月16日(木)	岡 崎 東
〃 8 月23日(月)	豊 田 西	〃 10 月15日(金)	須 坂	〃 12 月17日(金)	常 滑
〃 8 月24日(火)	西春日井	〃 10 月21日(木)	一 色	1983年 1 月18日(火)	名古屋千種
〃 8 月25日(水)	瀬 戸	〃 10 月22日(金)	安 城	〃 1 月19日(水)	碧 南
〃 8 月26日(木)	名 古 屋 西	〃 10 月23日(土)	奥 三 河	〃 1 月21日(金)	津 島
〃 8 月27日(金)	岡 崎 南	〃 10 月26日(火)	岡 谷	〃 1 月25日(火)	名 古 屋
〃 8 月30日(月)	名 古 屋 中	〃 10 月27日(水)	茅 野		
〃 9 月 1 日(水)	小 牧	〃 10 月28日(木)	富 士 見		

② 国際大会

●日比組合せ地区及びクラブ研究会

開催日 1982年11月19日～21日

会場 Y M C A アジア青少年センター
及びホテル聚楽（東京）

●1983年規定審議会

開催日 1983年3月7日～10日

会場 モナコ・モンテカルロ
参加人員 327地区(81%) 353名

●世界大会

開催日 1983年6月5日～8日

会場 カナダ・トロント市

参加人員 103ヶ国 16,813名
日本より1,723名

●日韓親善会議

開催日 1983年4月20日～21日

会場 日本国・神戸市

参加人員 日韓両国 397名
うち大韓民国 177名
第260地区 8クラブ 15名

③ 国際ロータリーより表彰

●意義ある業績賞

1. 奥三河ロータリークラブ（岡田互会長）

外国との交流の少ない山間地でありながら、会員の努力によりその特殊性を活かした、英国留学生のホームステイを数年間継続、国際理解と親善に成果をあげた。

2. 犬山ロータリークラブ（高木淳二会長）

ボーイスカウトを中心に国際奉仕と青少年奉仕の複合による多大な業績を納めている。又20年間も全会員力を合わせ、奉仕努力を継続している。

④ 地区行事

行 事 名		開 催 日	会 場	ホストクラブ	出席者数	備 考
地区年次大会		1982年 9月 24日(土)25日(日)	名古屋市市民会館	名 古 屋 北	2,506	R I 会長代理 服 部 禮次郎(第275 地区パストガバナー)
地 区 協 議 会		1983年 6月19日(日)	名古屋市公会堂	あ ま	845	分科会数7
イン ター シ テ ィ ゼ ネ ラ ル フ ォ ー ラ ム	尾 張 第 1 分 区	1983年 2月11日(金)	ホテルナゴヤキャッスル	名古屋和合	382	フ ォ ー ラ ム リ ー ダ ー 相 羽 鋳 一
	尾 張 第 2 分 区	1983年 3月27日(日)	瀬戸市文化センター	瀬 戸 北	441	フ ォ ー ラ ム リ ー ダ ー 福 田 浩 三
	三 河 第 1 分 区	1983年 4月29日(金)	伊良湖ビューホテル	渥 美	237	フ ォ ー ラ ム リ ー ダ ー 宮 地 信 尚
	三 河 第 2 分 区	1983年 3月6日(日)	名鉄岡崎ホテル	岡 崎 南	216	フ ォ ー ラ ム リ ー ダ ー 平 岩 信 三
	東 北 信 分 区	1983年 4月17日(日)	中野市 県勤労者福祉センター	中 野	238	フ ォ ー ラ ム リ ー ダ ー 矢 島 謹 一
	南 信 第 1 分 区	1983年 4月24日(日)	塩尻市 総合文化センター	塩 尻	228	フ ォ ー ラ ム リ ー ダ ー 山 岸 紫 朗
	南 信 第 2 分 区	1983年 4月10日(日)	赤穂公民館	駒 ケ 根	280	フ ォ ー ラ ム リ ー ダ ー 久 保 田 元 次

⑤ 地区内クラブ式典

開催日	クラブ名	行事	会場
1982.10.24	中野	10周年記念	中野プラザ会館
1983.2.2	小牧	15周年記念	小牧ロイヤルホテル
〃 2.6	安城	25周年記念	安城市文化センター
〃 3.13	一宮北	20周年記念	一宮スポーツ文化センター
〃 3.19	長野	20周年記念	長野国際会館
〃 4.10	津島	30周年記念	ホテルナゴヤキャッスル
〃 4.24	松川	15周年記念	松川商工会館ホール
〃 5.1	岡崎東	10周年記念	岡崎名鉄ホテル
〃 5.7	西尾	25周年記念	西尾市文化会館
〃 5.15	富士見	10周年記念	ヒルサイドホテル
〃 6.2	佐久	5周年記念	佐久市創造館
〃 6.20	名古屋東	5周年記念	名古屋国際ホテル
〃 6.29	上田東	5周年記念	上田東急イン

⑥ 拡大

特別代表・拡大補佐

年月日	任名	氏名	クラブ名	備考
1982年7月15日 〃	特別代表 拡大補佐	余 語 栄 三 山 田 巖 男	名古屋東 名古屋東	名古屋千種R.C.設立に際し委嘱

新クラブの誕生

クラブ名	名古屋千種クラブ	創立会員数	26
区域限界	名古屋市千種区、昭和区	会長	水野民也
事務所	〒464 名古屋市千種区池下一丁目4-18 井上ビル4階D号 ☎(052)763-5110	幹事	松居敬二
		スポンサークラブ	名古屋東
		特別代表	余語栄三
例会日時	火曜日 12:30~13:30	創立総会	1982年8月16日
例会場	愛知厚生年金会館	R.I.加盟承認日	1982年8月24日

⑦ ロータリー財団

1982～83年度 新ポールハリスフェロー

尾張第一分区				尾張第二分区				三河第二分区				南信第一分区			
半田	鈴木 勝弥	あま	服部 浩士	刈谷	原田 梅治	白馬	平林 堅								
〃	岡戸 伍弐	〃	後藤 袈裟美	西尾	神谷 元治	〃	太田 都雄								
〃	石川 大蔵	〃	岡部 快芳	〃	磯貝 忠利	木曾	原 恒男								
半田南	森島 昭二	〃	神戸 政治	〃	中嶋 敏雄	〃	吉村 章次								
東知多	加藤 知成	尾西	小川 雅也	〃	杉浦 義夫	松本南	野口 和美								
名古屋	江口 太郎	〃	丹羽 康雄	〃	山田 廉平	〃	八田 義男								
〃	菅谷 知己	〃	川出 珂久治	岡崎	加藤 善啓	〃	奥澤 俊一								
名古屋東	稲田 萬吉	〃	臼井 将雄	岡崎東	斎藤 洋一	松本西南	青木 俊達								
〃	宇佐美 重斌	〃	市川 達郎	〃	三浦 敏正	〃	篠崎 哲郎								
〃	伴 正雄	〃	水谷 晃一	〃	落合 鎌市	岡谷	今井 章雄								
名古屋北	小保川 二郎	一宮	加藤 敏夫	〃	草野 信隆	〃	花岡 孝光								
〃	高仲 顕	〃	左合 守彦	〃	大竹 一三	〃	小沢 一雄								
〃	谷田 利景	稲沢	青山 孝太郎	岡崎南	小野 隆	小計	12名								
名古屋北北	山田 四郎	〃	橋本 嗣治	豊田	山内 一生	南信第二分区									
〃	武藤 俊逞	春日井	入谷 俊彦	小計	14名	飯田南	長坂 好忠								
〃	加藤 鈺彦	〃	小川 充盈	東北信分区				〃	岡島 順二						
名古屋南	赤津 賢太郎	〃	山内 孝弘	輕井沢	光嵩 督	〃	荒木 謙次								
〃	林 幸市郎	小牧	河村 嘉男	〃	佐藤 泰春	〃	北原 康平								
〃	小出 茂夫	江南	佐藤 好永	小諸	小林 益三	〃	松野 衛								
〃	松本 進	西春日井	柴山 藤蔵	〃	小山 昂	〃	外松 淳								
名古屋中	谷口 次郎	瀬戸	加藤 蓋吾	長野野	土屋 喜市	〃	伊藤 正夫								
〃	荻原 賢一	〃	鈴木 正人	〃	神津 文雄	〃	黒河内 英達								
名古屋西	二村 忠男	〃	二木 良三	〃	塚田 俊之	〃	大竹 寿								
〃	田口 義嘉寿	〃	加藤 鈔	〃	塚田 武司	駒根	平沢 博人								
名古屋東南	長沢 孝一	瀬戸北	横井 弘美	長野東	竹内 茂雄	〃	早田 和夫								
〃	渡辺 裕	津島	江上 薫	〃	北野 吉造	〃	太田 泰儀								
〃	各務 芳樹	小計	26名	〃	藤井 基成	〃	前沢 潭								
名古屋和合	鈴木 隆佳	三河第一分区				松川	後藤 晃								
名古屋千種	安藤 銀之助	奥三河	岡田 互	長野南	小山 武士	〃	北原 克己								
〃	浜口 龍男	新城	武田 宏	〃	中島 英夫	〃	久保田 修								
〃	菊池 昭元	豊橋	松井 英治郎	上田	鈴木 俊	〃	宮脇 権右衛								
〃	菅原 宣彦	〃	佐藤 茂	〃	和田 晋	〃	森田 真								
〃	竹内 真三	豊北	川西 十三雄	上田東	中村 貞義	〃	大原 源一								
東海	服部 清伍	豊川	小野 光男	小計	17名	〃	矢沢 俊三								
〃	本内 静夫	〃	鈴木 博也					辰野	赤羽 善一郎						
常滑	斉田 竹二	小計	7名					小計	21名						
小計	36名									合計	133名				

第260地区 ローターリー財団寄付一覧表

1983年5月31日現在 (単位U.S.ドル)

クラブ名	会 員 数	56 年 12 月	本年度累計	寄付額累計	達 成 率 (%)	上位への 必 要 額	クラブ名	会 員 数	56 年 12 月	本年度累計	寄付額累計	達 成 率 (%)	上位への 必 要 額
あ ま	73		5,927.44	49,970.77	6,800	399.31	名古屋瑞穂	57		780.00	7,757.67	1,500	535.23
安 城	73		1,300.00	39,733.43	5,800	385.44	名古屋守山	79		1,875.76	37,388.62	4,800	267.02
渥 美	52		76.01	8,429.92	1,700	464.88	名古屋中	95		8,550.67	56,335.88	6,300	59.85
尾 西	52		3,541.00	18,837.92	3,900	273.00	名古屋北	99		4,721.05	87,309.04	8,600	97.02
茅 野	24		10.00	1,522.73	600	125.28	名古屋南	118		3,798.00	59,141.41	5,000	188.80
富 士 見	32		31.97	6,750.03	2,200	164.48	名古屋東南	82		2,675.00	65,385.51	8,100	778.18
蒲 郡	67		1,298.26	14,893.14	1,100	560.12	名古屋和合	72		2,387.00	29,028.04	4,600	128.88
白 馬	40		241.20	8,448.76	2,600	12.80	名古屋西	142		4,750.07	60,297.78	4,300	809.40
半 田	62		3,467.01	30,515.21	4,700	34.72	中 野	47		0.00	7,077.72	1,300	228.89
半 田 南	40		2,139.00	8,089.08	2,100	269.20	西春日井	68		3,386.83	32,929.49	4,700	548.76
碧 南	69		347.99	22,714.81	3,300	112.47	西 尾	74		206.66	25,636.95	3,500	396.64
東 知 多	41		620.75	16,717.26	3,800	346.86	岡 谷	67		0.00	30,640.48	5,000	275.37
一 宮	84		2,845.70	32,557.33	3,700	451.92	岡 崎	90		1,618.00	57,405.99	6,900	9.00
一 宮 北	77		2,300.11	30,265.12	4,200	768.46	岡 崎 東	54		3,084.28	27,102.14	4,900	519.48
飯 田	79		1,533.29	33,474.75	4,600	33.18	岡 崎 南	74		5,442.59	40,926.72	5,700	26.64
飯 田 南	75		8,824.95	32,673.94	4,600	321.75	奥 三 河	52		50.00	29,469.33	5,900	430.56
飯 島	35		1,300.00	19,851.10	6,200	347.90	大 町	63		80.00	19,374.13	3,000	155.61
伊 那	76		113.01	30,864.42	4,600	448.40	尾 張 旭	44		1,462.84	23,496.38	5,300	315.48
稲 沢	48		1,483.00	22,059.45	4,300	104.64	名古屋港	106		102.01	53,151.63	4,700	118.72
犬 山	72		2,097.76	39,425.08	5,500	66.24	佐 久	38		437.03	5,334.98	1,700	115.90
一 色	54		1,132.01	17,117.07	3,300	483.84	瀬 戸	72		4,548.18	32,343.86	5,100	27.36
岩 倉	28		177.00	6,821.23	1,700	81.76	瀬 戸 北	48		104.00	18,730.93	2,900	169.44
刈 谷	82		1,730.39	34,695.79	4,600	702.74	新 城	47		68.20	11,260.19	2,400	132.54
軽 井 沢	39		2,448.00	18,894.27	5,000	253.11	塩 尻	41		100.00	3,477.88	1,100	99.22
春 日 井	81		707.97	55,505.25	7,200	8.91	諏 訪	63		0.00	25,757.56	4,600	439.74
木 曾	49		2,116.00	20,744.86	4,400	361.62	須 坂	36		80.00	2,567.74	700	121.32
駒 ケ 根	59		4,061.00	47,723.60	7,900	270.81	田 原	63		2,309.46	30,072.77	5,100	546.21
小 牧	62		2,022.80	33,743.93	6,000	40.92	高 浜	47		498.96	17,648.02	3,900	28.67
小 諸	59		2,186.00	45,260.14	8,300	115.05	辰 野	47		2,800.00	26,515.61	5,500	179.54
江 南	66		1,953.52	36,910.01	5,900	421.08	戸倉上山田	43		0.00	7,297.83	1,900	339.70
丸 子	39		150.00	8,631.05	2,400	68.25	東 海	49		3,123.50	22,834.15	4,900	464.52
松 川	51		6,401.34	16,551.65	3,600	43.35	常 滑	60		1,689.98	25,297.53	4,400	513.00
松 本	74		302.00	42,911.35	5,600	358.90	豊 橋	112		3,488.51	61,996.34	5,800	701.12
松 本 南	81		1,770.06	35,080.13	4,200	413.10	豊 橋 北	98		3,697.98	39,110.55	4,000	160.72
松本西南	48		1,908.00	21,376.17	4,900	342.72	豊 橋 南	65		432.01	25,327.54	4,100	568.10
南 佐 久	25		342.37	9,687.77	3,500	122.00	豊 川	75		1,000.00	26,787.08	4,000	132.00
箕 輪	31		0.00	8,399.13	2,700	61.69	豊 田	91		1,905.28	33,525.12	3,800	621.53
長 野	91		12,860.94	42,647.74	4,800	57.33	豊 田 東	51		432.20	4,988.90	1,100	406.47
長 野 東	73		3,000.00	27,521.00	4,000	567.21	豊 田 西	61		604.99	17,470.24	3,000	111.02
長 野 南	31		500.00	1,529.45	500	259.47	津 島	70		2,416.09	33,616.07	4,600	403.90
名 古 屋	215		2,854.05	107,559.09	4,800	21.50	上 田	58		3,671.00	26,585.66	4,800	381.06
名古屋空港	66		470.05	24,018.81	4,100	660.00	上 田 東	50		1,128.00	13,092.28	3,300	102.50
名古屋千種	40		9,025.21	9,025.21	2,200	174.80							
名古屋東	101		2,005.14	53,625.71	5,900	223.21							
名古屋名北	43		4,782.98	21,314.92	5,000	377.54							
名古屋名東	52		1,575.11	11,340.99	2,600	479.44							
合 計							5,679		185,396.00	2,487,924.31			

数値はロータリー財団本部の集計資料による。

寄与率高順位クラブ —6,000%以上—

(1983年5月31日ロータリー財団集計資料による)

順位	ク ラ ブ 名	達 成 率
1	名 古 屋 北	8,600%
2	小 諸	8,300%
3	名古屋東南	8,100%
4	駒 ケ 根	7,900%
5	春 日 井	7,200%
6	岡 崎	6,900%
7	あ ま	6,800%
8	名 古 屋 中	6,300%
9	飯 島	6,200%
10	小 牧	6,000%

1984—85年度 R.財団奨学生候補者

○正候補者

山崎 岩男(長野 東)大学院課程 イタリア
河辺 泰宏(名古屋守山)大学院課程 イタリア
市瀬 卓(飯 田)大学 課程 アメリカ
神野真寿美(東 海)大学院課程 アメリカ
井出 万秀(木 曽)大学 課程 ド イ ツ

○補欠候補者

竹内 礼子(名古屋中)大学院課程 イギリス
池田 京子(名古屋東南)大学院課程 ド イ ツ

○他に職業研修奨学生として

ジャーナリズム候補、美術研究(絵画)候補

吉岡 逸夫(名古屋守山)大 学 課 程 アメリカ
長谷川龍彦(名古屋北)大学院課程 フランス

⑧ 米山記念奨学会

年間寄付額累計

特別寄付 年度額 27,223,362円
累計額 130,284,658円
普通寄付 年度額 13,500,300円
累計額 121,243,600円

合 計 年度額 40,723,662円
累計額 251,528,258円

昭和58学年度米山奨学生

	No.	氏 名	国 名	大 学 名	支給期間	世話クラブ
継続 支給	1	安 鐘 雄	韓 国	名古屋大学	57/4～60/3	名古屋空港
	2	アシュリー, ファラマルツ	イ ラ ン	名古屋大学	56/4～60/3	名 古 屋 北
	3	林 平 山	台 湾	名城大学	57/4～59/3	名 古 屋 南
	4	メダガマ, ナンダワンサ	スリランカ	愛知学院大学	57/4～59/3	名 古 屋
	5	蘇 正 徳	台 湾	名古屋大学	57/4～59/3	名 古 屋 北
新 期 支 給	6	李 光 必	韓 国	名古屋大学	58/4～60/3	名古屋名東
	7	周 宜 興	台 湾	信州大学	58/4～60/3	松 本
	8	アクタル, シャミム	バングラデシュ	名古屋大学	58/4～59/3	あ ま
	9	翁 大 徳	台 湾	名古屋大学	58/4～60/3	名 古 屋
	10	蘇 百 祿	台 湾	名古屋大学	58/4～61/3	名古屋和合
	11	劉 奕 煥	台 湾	南山大学	58/4～59/3	名古屋千種
	12	王 福 順	台 湾	名古屋大学	58/4～59/3	名古屋東南
	13	アルゾ, モハマド, アクバル	アフガニスタン	名古屋大学	58/4～60/3	名 古 屋 北
CY	14	バイデヤヤ, シディ, ラクスミ	ネ パ ール	名古屋大学	57/4～59/3	名古屋名北

1982～83年度 新米山功労者

尾張第一分区				あ	ま	木下	章吉	三河第二分区				岡	崎	南	小島	孝雄
東 知 多	鈴木	章		一	宮	安野	修	西	尾	安藤	正義	〃		嶋山	紫峰	
名 古 屋	盛田	和昭		稲	沢	森	美智大	〃		浅岡	勝行	豊		田	愛知	鋺郎
名 古 屋 北	加藤	寛一郎		春	日 井	森	光男	〃		朝岡	金作	豊	田	西	野田	栄治
名古屋名北	塚田	清		〃		須田	金彦	〃		今井	康雄	〃			鈴木	義照
〃	鬼頭	幸光		小	牧	林	兼寛	〃		犬塚	和夫	豊	田	東	鈴木	昌
〃	吉村	卯一郎		〃		丹羽	淑恵	〃		石川	昭夫	〃			早川	昌昭
名古屋名東	加藤	実		名古屋	空港	天野	正英	〃		石川	武	小 計	27名			
名 古 屋 南	野垣	茂吉		瀬 戸	北	長江	鋭夫	〃		伊藤	信吾	東北信分区				
名古屋瑞穂	嶺木	一夫		〃		藤田	音春	〃		深谷	環	小	諸	高橋	昭夫	
〃	武田	誠		小 計	13名			〃		水谷	晃	〃	〃	前田	善	
名古屋守山	水谷	武生		三河第一分区				〃		阪部	幸司	〃	〃	飯島	久雄	
〃	森井	敏晴		新	城	宮本	末雄	〃		沢村	甚松	佐	久	小林	恒一	
名 古 屋 中	山田	喜久		田	原	石黒	功三	〃		辻	讓	上 田	東	塚原	新一	
常 滑	常滑通運(株)			豊	橋	神野	信郎	〃		鶴飼	勝	〃		矢島	謹一	
〃	竹内	浩一		〃		牧	仙市	〃		山崎	周弥	〃		堀	謙三	
小 計	15名			〃		梅林	昌彦	〃		鳥山	幸雄	〃		甲田	時夫	
尾張第二分区				豊	川	宮地	信尚	〃		和田喜久男		〃		母袋	恭二	
あ	ま	水野	真	〃		安藤	渡	岡	崎	中根比呂志		小 計	9 名			
〃		小島	力	小 計	7 名			岡 崎 東	宇野	俊夫	合 計	71名				
〃		構井	永忠					岡 崎 南	岩瀬	一三						

1982～83年度 米山功労クラブ

1982年 7月1日 瀬 戸 北
 〃 7月3日 伊 那
 〃 7月19日 名 古 屋 南
 〃 7月24日 あ ま
 〃 8月30日 豊 橋 北
 〃 9月1日 名古屋守山
 〃 9月3日 岡 崎 南
 〃 9月17日 名古屋空港
 〃 10月9日 東 知 多
 〃 10月20日 名古屋瑞穂
 〃 10月26日 田 原
 〃 11月1日 佐 久
 〃 11月5日 春 日 井
 〃 11月6日 豊 橋 南

1982年 11月8日 西 尾
 〃 11月16日 豊 田 東
 〃 12月28日 小 諸
 1983年 2月17日 名古屋名北
 〃 3月26日 上 田 東
 〃 4月4日 名 古 屋 北
 〃 4月12日 岡 崎 東
 〃 4月26日 岡 崎
 〃 5月12日 小 牧
 〃 6月6日 江 南
 〃 6月15日 名古屋和合
 〃 6月22日 名 古 屋 中
 合 計 26クラブ

⑨ 国際青少年交換

- (1) 1983年1月～1984年1月交換、オーストラリアより受入れ、滞日中の学生は4名、1983年3月～1984年3月、オーストラリアへの派遣学生は4名である。

氏 名	推せんR.C.	学 校	派遣先地区並ホストロータリークラブ
兵 藤 仁 美	高 浜	碧 南 高 校 1 年	952 Onley, South Australia, Australia

田 中 宏 光	長 野	長 野 高 校 2 年	963 Ipswich, Q'ld.,	ク
辻 撰 子	名古屋西	聖マリア女子学院高 卒	975 Botany, N. S. W.,	ク
堀 部 明 子	木 曽	木 曽 高 校 3 年	975 Caringbah, N. S. W.,	ク

氏 名	性別	地区	推せんロータリークラブ	ホストロータリークラブ
Alison Jane Rahill	F	952 Noarlunga East, South Australia, Australia		高 浜
Tania Maria Steinmuller	F	963 Ipswich, Q'ld., Australia		長 野
Jenny Heather Davies	F	963 Logan, Q'ld., Australia		名古屋北
Kathryn Anne Allen	F	975 Leichhardt, New South Wales, Australia		名古屋西

- (2) 1983～84年1ヵ年交換学生としてアメリカ、カナダへ派遣の学生は下記の通りである。合計11名のうち名簿順位6名は1983年3月～1984年3月(既に出発)、他の5名は1983年8月～1984年7月(8月18日出発予定)である。

氏 名	推せんR.C.	学 校	派遣先地区並ホストロータリークラブ
釧 持 基 子	長 野 東	長 野 高 校 3 年	555 Selkirk, Manitoba, Canada
奥 田 誠	安 城	安 城 東 高 校 2 年	555 Saskatoon North, Sask., Canada
伊 藤 實知子	東 海	横 須 賀 高 校 3 年	633 Stratford, Ont. Canada
稲 葉 匡 信	半 田	半 田 高 校 2 年	595 Golden Valley, Minnesota, U. S. A.
児 玉 敏 子	大 町	大 町 北 高 校 3 年	595 Cannon Falls, Minnesota, U. S. A.
加 藤 孝 良	佐 久	佐 久 高 校 3 年	654 Roseland, Indiana, U. S. A.
坂 本 真 理	名古屋東南	金城学院高 校 3 年	502 Centralia, Washington, U. S. A.
小 林 園 子	箕 輪	伊那弥生ヶ丘高校 2 年	550 Chandler, Arizona, U. S. A.
北 田 寿 美	茅 野	東海大第三高校 3 年	503 Juneau, Alaska, U. S. A.
百 瀬 美佐子	松本西南	松本美須ヶ丘高校 2 年	552 Tacumcari, New Mexico, U. S. A.
松 井 美 樹	名古屋港	千 種 高 校 2 年	743 Ambler, Penna., U. S. A.

- (3) 1983～84年1ヵ年交換学生としてアメリカ、カナダより受入れ予定の学生は下記の通りである。
1983年8月19日(金) CP-403 14時55分、又はSQ-11 18時00分(Kaplan社扱い)、1983年8月20日(土) UA-143 14時45分(IYW社扱い)で来日予定であるが、明細がまだ不明。

氏 名	性別	地区	推せんロータリークラブ	ホストロータリークラブ
Edith Murney Cochran	F	555 Saskatoon North, Sask. Canada		安 城
Shelley Ann Ruhr	F	555 Eastview (Regina), Sask. Canada		長 野 東
Janet Lynn Beasley	F	633 London East, Ont. Canada		東 海
Kathleen Kimiko Kelly	F	502 Lakewood, Wash., U. S. A.		名古屋東南
Gina Maria Gucker	F	503 Ketchikan, Alaska, U. S. A.		茅 野
Ingrid Marianne McTaggart	F	550 Mesa, Arizona, U. S. A.		箕 輪
Lisa Otero	F	552 Taos, New Mexico, U. S. A.		松本西南
Jane L. Hetland	F	595 Burnsville, Minnesota, U. S. A.		戸倉上山田
Lisa Joy Gagnon	F	627 Two Rivers, Wisconsin, U. S. A.		佐 久
Marion Miki Braswell	F	743 Doylestown, Penna., U. S. A.		名古屋港

(4) 1983年度夏期短期交換はD.667・アメリカ・オハイオ州Dayton市周辺地区との相互交換は下記の通りである。

● 7月11日出発

氏 名	推せんR.C.	学 校	派遣先地区並ホストロータリークラブ
杉 浦 英 治	一 色	京 都 産 業 大 学 1 年	667 Farmersville, Ohio, U. S. A.
佐々木 一 恵	名古屋名北	金 城 学 院 高 校 2 年	〃 〃 〃

● 7月21日、名古屋空港(小牧)着で来日

氏 名	性別	地区	推せんロータリークラブ	ホストロータリークラブ
Mark David Webster	M	667 Farmersville, Ohio, U. S. A.		一 色
Jill Marlene Poeppelmeier	F	〃 〃		名古屋名北
Stefani Paige Green	F	〃 〃		大 町
Timothy Michael Bowman	M	〃 〃		大 町

⑩ インターアクト

地区協議会

開催日 1982年7月25日・26日

会 場 蒲郡ホテル竹島

参加人員 I.A.C. 247名 ロータリアン 59名

ホストクラブ 岡崎城西I.A.C. 岡崎南R.C.

地区内クラブ一覧表 10クラブ 278名

クラブ名	スポンサー R. C.	結成年月日	1983年6月末 会 員 数	住 所	例会日	開会時刻	例 会 場
豊 川 学 園 豊 川 高 校	豊 川	1964.10.9	21	〒442 豊川市末広通り1-37	木	15:40	校 内 部 室
豊田工業高等 専 門 学 校	豊 田	1965.1.25	45	〒471 豊田市栄生町2-1	金	12:40	校 内
豊橋商業高校	豊 橋	1965.10.16	27	〒440 豊橋市向山官有地	月	15:40	校 内 商 品 実 験 室
松商学園高校	松 本	1966.5.5	35	〒390 松本市県3-6-1	第1・3 木	16:00	校 内
岡崎城西高校	岡 崎 南	1967.7.1	37	〒444 岡崎市中園町川成98	水	15:25	校 内
名 古 屋 名 古 屋	名 古 屋	1968.6.15	18	〒460 名古屋市中区上り津2-5-29 名古屋YMCA少年部内	第1・3 土	14:00	名 古 屋 Y M C A 会 館
松本工業高校	松 本 南	1969.5.3	20	〒390 松本市筑摩東2419	第1・3 土	13:30	校 内 会 議 室
岡崎女子高校	岡 崎	1971.11.27	24	〒444 岡崎市稲熊町3-110	水	15:50	校 内 クラブ 室
安 城 学 園 附 属 高 校	安 城	1977.4.1	31	〒446 安城市小堤町4-25	火・木	16:00	校 内 クラブ 室
津島女子高校	津 島	1981.5.2	20	〒496 津島市本町5-2	第2・4 土	11:45	校 内

⑪ ローターアクト

第6回地区大会

開催日 1983年3月20日
会 場 一宮スポーツ文化センター
参加人員 200名
ホストクラブ 一宮R.A.C.

会長・幹事会

開催日 1982年7月25日
会 場 一宮スポーツ文化センター

長野R.A.C.認証状伝達式

開催日 1982年10月3日
会 場 長野国際会館

第6回部門別協議会

開催日 1982年11月28日
会 場 伊那市総合福祉センター
参加人員 300名

第2回海外研修

日 程 1983年5月2日～5月5日
研修先 R.I.345地区(台湾)
団 長 浅野康久 地区代表(一宮R.A.C.)
団 員 23名

第6回全国地区代表会議

開催日 1983年3月5日・6日
会 場 名古屋サンプラザ
参加人員 60名

地区内クラブ一覧表 11クラブ 287名

クラブ名	スポンサー R. C.	結成年月日	1983年5月15日 会員数(内期末退会者)	事 務 所 住 所	例会日	開会時刻	例 会 場
岡 崎	岡 崎	1969.9.19	26	〒444 岡崎市康生通西3-15 -7 西三総合ビル7階	第1・3 木	18:30	岡崎ショッピング センター・レオ7階
豊 橋	豊 橋	1975.3.6	26	〒440 豊橋市花田町石塚42 豊橋商工会議所内	第1・3 月	18:30	中部ガスビル内 サラー
田 原	田 原	1975.5.19	32	〒441-34 渥美郡田原町倉田 10-2 田原商工会館内	第1・3 月	18:30	田 原 商 工 会 館
一 宮	一 宮 北 西	1975.6.5	26	〒491 一宮市栄4-2-1 一宮商工会議所内	第1・3 火	18:30	一宮スポーツ文化 センター2階
名古屋港	名古屋港	1976.3.5	21	〒454 名古屋市中川区松年 町4-66 名古屋掖済会病院内	第1・3 木	18:40	日本生命名古屋南 支社4階
飯 田	飯 田	1977.9.30	24	〒395 飯田市常盤町 飯田商工会館内	第1・3 金	18:30	飯田商工会館7階 展望食堂
江 南	江 南	1979.4.1	26	〒483 江南市北野町川石23 真野医院内	第1・3 木	18:30	布 袋 食 糧 棟 松 岡 建 設 棟
松 本	松 本 南	1979.5.27	27	〒390 松本市中央1-9-18 松本商工会館内	第2・4 金	18:30	林友インテリアセ ンター5階
伊 那	伊 那	1980.1.21	31	〒396 伊那市大字伊那5208 -1 山太伊那商事内	第1・3 木	19:00	八十二銀行伊那支 店3階
諏 訪	諏 訪	1981.6.18	18	〒392 諏訪市湖岸通3-2-9 ホテルぬのはん内	第1・3 木	19:00	ホテルぬのはん
長 野	長 野	1982.8.3	30	〒380 長野市県町 北野建設棟内	月2回 火・金	18:30	長 野 国 際 会 館

⑫ 世界社会奉仕実施状況

クラブベース実績

実施クラブ	プロジェクトNo.	内 容	対象国	対象R.C.	金 額	実施時期
名古屋中R.C.	1 2 1 7	青少年奨学資金	KENIYA	MOMBASSA	\$ 314	1983年4月
名古屋中R.C.	1 2 1 3	仁荷大学に対する日本書 籍寄贈	KOREA	INCHEON	¥ 255,000	1983年5月

地区ベース実績

プロジェクト	内 容	対 象 国	対象R.C.	金 額	実施時期
R. I. 要 請	エクアドル 沿岸地域洪水	エクアドル	440地区	\$ 1,000	1983年 4 月
R. I. 要 請	ベ ル ー 北部洪水と土砂崩れ	ベ ル ー	446地区	\$ 1,000	1983年 4 月
R. I. 要 請	コロンビア ツコマ島津波	コロンビア	429地区	\$ 1,000	1983年 4 月
R. I. 要 請	フィジー島 台風	フィジー	992地区	\$ 1,000	1983年 4 月
R. I. 要 請	ボ リ ビ ア 中部地区干魃と東北部洪水	ボ リ ビ ア	469地区	\$ 1,000	1983年 4 月
R. I. 要 請	イ ン ド アツナム州動乱	イ ン ド	329地区	\$ 1,000	1983年 5 月
R. I. 要 請	コロンビア カウカ地方地震	コロンビア	429地区	\$ 1,000	1983年 5 月
# 1 6 8 8	フィリピン 栄養不良児救済	フィリピン	385地区	\$ 2,000	1983年 5 月

⑬ 海外姉妹クラブ友好クラブ提携

クラブ名	地区	相手クラブ名	クラブ名	地区	相手クラブ名
あ ま	345	香港 九龍北R.C.	松 本 南	368	韓国 清州R.C.
渥 美	491	アルゼンチン ウイルデR.C.	松 本 南	368	韓国 清州東R.C.
尾 西	345	中華民国 水里R.C.	名 古 屋	528	アメリカ ロサンゼルスR.C.
富 士 見	346	中華民国 東港R.C.	名 古 屋	417	メキシコ メキシコシティR.C.
蒲 郡	345	中華民国 基隆南区R.C.	名 古 屋	975	オーストラリア シドニーR.C.
半 田	631	アメリカ ミッドランドR.C.	名古屋空港	345	香港 九龍西R.C.
一 宮	345	中華民国 新竹R.C.	名古屋空港	382	フィリピン マカティウエストR.C.
飯 田	528	アメリカ レドンド、リビエラR.C.	名 古 屋 北	345	中華民国 西北R.C.
飯 田 南	345	中華民国 桃園R.C.	名 古 屋 港	555	カナダ フリンフロンR.C.
稲 沢	970	オーストラリア カウラR.C.	西 春 日 井	345	中華民国 永和R.C.
犬 山	345	中華民国 草屯R.C.	岡 崎 南	532	アメリカ ニューポート バルボアR.C.
一 色	517	アメリカ サンリアンドロR.C.	瀬 戸	528	アメリカ イングルウッドR.C.
岩 倉	345	中華民国 北斗R.C.	瀬 戸 北	504	カナダ Vanc. アービュータスR.C.
軽 井 沢	275	マリアナ島 グアムR.C.	諏 訪	555	カナダ スターナR.C.
春 日 井	366	韓国 釜山南R.C.	豊 橋 南	380	フィリピン サン・ファンR.C.
木 曾	370	韓国 大邱中央R.C.	豊 川	346	中華民国 岡山R.C.
小 牧	345	中華民国 花蓮R.C.	豊 川	370	韓国 大邱達西R.C.
小 諸	319	インド バンガロールR.C.	津 島	345	中華民国 淡水R.C.
江 南	345	中華民国 潮州R.C.			

⑭ 国内委員会

会 議 名	開 催 日	会 場
ガバナー・パストガバナー懇談会	1982年 7 月 1 日	ホテルパシフィック
ガバナー連絡会議第1回	1982年 7 月 1 日	ホテルパシフィック
ガバナー連絡会議第2回	1982年10月20日	A B C 会館
ガバナー連絡会議第3回	1982年12月12日	大阪ロイヤルホテル
ガバナー連絡会議第4回	1983年 3 月16日	東京プリンスホテル
ロータリーの友委員会	1982年 7 月 2 日	東京プリンスホテル
ロータリーの友委員会	1983年 1 月11日	東京プリンスホテル
ロータリーの友顧問・地区委員・常任委員合同会議	1983年 3 月11日	東京プリンスホテル
ロータリーの友顧問・地区委員・常任委員合同会議	1983年 5 月 2 日	A B C 会館

ロータリー研究会第11回	1982年12月12日	大阪ロイヤルホテル
拡大カウンセラーセミナー	1982年7月9日	帝国ホテル
会員増強セミナー	1982年7月10日	帝国ホテル
全国青少年交換委員長会議	1982年7月2日	ホテルパシフィック
全国青少年交換委員長会議	1982年12月3日	A B C 会館
米山記念奨学会評議員会	1982年8月23日	東京プリンスホテル
全国米山奨学委員長会議	1982年8月24日	東京プリンスホテル
ローターアクト全国地区代表者会議第6回	1983年3月5～6日	名古屋サンブラザ
全国インターアクト委員長会議	1983年5月24日	A B C 会館

地区委員会

会 議 名	開 催 日	会 場
地区諮問委員会第1回	1982年7月10日	名鉄グランドホテル
地区諮問委員会第2回	1982年8月28日	名鉄グランドホテル
地区諮問委員会第3回	1982年9月24日	名古屋観光ホテル
地区諮問委員会第4回	1983年1月29日	名鉄グランドホテル
地区諮問委員会第5回	1983年3月12日	名鉄グランドホテル
地区諮問委員会第6回	1983年6月18日	第二富士ホテル
分区代理会議第1回	1982年9月24日	名古屋観光ホテル
分区代理会議第2回	1983年5月11日	名古屋観光ホテル
次年度会長幹事会（愛知）	1983年4月16日	ホテルキャッスルブラザ
次年度会長幹事会（長野）	1983年4月23日	松本商工会館
地区大会（名古屋）企画委員会	1982年2月12日	名古屋郵便貯金会館
地区大会（名古屋）企画委員会	1982年4月2日	名古屋郵便貯金会館
地区大会（名古屋）企画委員会	1982年7月7日	名古屋郵便貯金会館
地区大会（松本）企画委員会	1983年2月14日	名鉄グランドホテル
地区大会（松本）企画委員会	1983年3月10日	松本第二東急イン
地区協議会実行委員会	1982年10月25日	名鉄グランドホテル
地区協議会実行委員会（部門別委員会共）	14回	名鉄グランドホテル
意義ある業績賞選考委員会	1983年1月29日	名鉄グランドホテル
地区奉仕委員会	1983年1月28日	名鉄グランドホテル
地区奉仕委員会	1983年4月27日	名鉄グランドホテル
国際奉仕委員会	1982年11月9日	ホテルキャッスルブラザ
国際奉仕委員会	1983年3月1日	名鉄グランドホテル
青少年交換学生の集い	1983年2月5～7日	軽井沢セミナーハウス
インターアクト委員会	1982年7月24日	名古屋商工会議所
ローターアクト委員会	1982年7月25日	一宮スポーツ文化センター
ローターアクト委員会	1982年11月28日	伊那市総合福祉センター
財団奨学金委員会	1983年1月6日	名古屋観光ホテル
財団奨学生選考委員会	1983年4月9日	南山大学
米山奨学生選考委員会	1983年3月22日	名鉄グランドホテル
米山奨学生カウンセラー会議	1982年9月14日	中日パレス
米山奨学生卒業歓送会	1983年4月23日	中日ビル
地区資金委員会	1983年3月2日	中京相互銀行
ガバナー事務所打合せ	12回	ガバナー事務所

15 地区資金報告

第260地区 地区資金1982～1983年度決算書（一般会計の部）

収 入 の 部			
科 目	予 算 額(円)	決 算 額(円)	備 考
繰 越 金	2,000,000	6,209,060	
地 区 資 金	17,250,000	17,052,000	上半期 @ 1,500×5,644 下半期 @ 1,500×5,724
雑 収 入	100,000	546,696	受取利息他
合 計	19,350,000	23,807,756	

支 出 の 部			
科 目	予 算 額(円)	決 算 額(円)	備 考
地 区 行 事 費	4,600,000	4,376,120	
地 区 大 会 費	2,200,000	2,094,520	役員旅費・ホストクラブ補助費
地 区 協 議 会 費	1,000,000	930,000	〃 〃
I. G. F. 費	1,000,000	951,600	〃 〃
次 年 度 会 長 ・ 幹 事 会 費	400,000	400,000	
国際ロータリー行事費	1,200,000	1,200,000	
ガバナー国際会議出席補助費	600,000	600,000	
R. I. 規定審議会出席補助費	600,000	600,000	
地 区 運 営 費	6,700,000	6,691,680	
ガバナー連絡会議出席補助費	1,150,000	1,259,400	旅費・登録料他
ガバナー事務所補助費	3,300,000	3,300,000	
ガバナーノミニ事務所補助費	400,000	400,000	
地 区 会 計 費	200,000	200,000	
地 区 幹 事 費	300,000	300,000	
分 区 代 理 費	900,000	882,280	
記 念 品 ・ 餞 別 費	300,000	300,000	
特 別 代 表 費	150,000	50,000	
地区諮問委員会費	1,000,000	975,560	
地区指名委員会費	50,000	0	
拡大カウンセラー委員会費	50,000	36,400	
地 区 委 員 会 費	2,750,000	2,294,110	
地 区 奉 仕 委 員 会 費	350,000	263,970	交通費・会議費
青 少 年 奉 仕 委 員 会 費	1,400,000	864,000	〃 〃 及補助費
国 際 奉 仕 委 員 会 費	350,000	85,854	〃 〃
ロータリー財団委員会費	450,000	902,186	〃 〃 及選考試験費
米 山 奨 学 委 員 会 費	100,000	70,000	〃 〃
地 区 資 金 委 員 会 費	50,000	58,100	〃 〃
ロータリーの友委員会費	50,000	50,000	〃 〃
雑 費	750,000	597,350	
予 備 費	650,000	0	
繰 越 金	1,600,000	7,636,536	
合 計	19,350,000	23,807,756	

次年度繰越金内訳

現 金	2,500,000円（次年度へ前渡済）
〃	5,136,536円
合 計	7,636,536円

第260地区 地区資金1982～1983年度決算書（特別会計の部）

事業資金協力会 科 目		青少年交換 事業資金	世界社会 奉仕事業資金	研究グループ 交換事業資金	地区大会 協力金	ガバナー連絡 会議運営 協力金	ロータリー 文庫運営 協力金	特別活動 事業資金
収入 の 部	前年度繰越金	2,214,227	1,874,683	60,782				7,113,000
	活動資金	8,526,000	1,705,200		19,754,000	1,136,800	1,136,800	2,842,000
	雑収入	139,265	137,847	651				
	収入合計	10,879,492	3,717,730	61,433	19,754,000	1,136,800	1,136,800	9,955,000
支出 の 部	受入クラブ補助費	6,830,000						
	委員会費	619,110						
	旅費交通費	234,097						
	通信費	240,988						
	事務費	389,060						
	活動費		2,160,000					4,587,800
	名古屋北R.C.送金 (地区大会)				19,754,000			
	ガバナー連絡会議 事務所送金					1,136,800		
	ロータリー文庫 運営委員会送金						1,136,800	
	雑費	756,778	8,000					
	支出合計	9,070,033	2,168,000	0	19,754,000	1,136,800	1,136,800	4,587,800
次年度繰越金		1,809,459	1,549,730	61,433	0	0	0	5,367,200

昭和58年7月1日 上記の通り報告致します。

国際ロータリー第260地区1982-83年度ガバナー 大隈孝一 印
〃 〃 地区会計長 服部英一 印

昭和58年7月5日 監査の結果、上記収支計算書は適正と認めます。

国際ロータリー第260地区1982-83年度地区会計監事 箕輪吉人 印
(公認会計士 名古屋R.C.)

昭和58年7月5日 上記収支計算書を承認します。

国際ロータリー第260地区1982-83年度地区資金委員会

委員長 山田市三郎 印
(名古屋南R.C.)
委員 福山 巧
(名古屋南R.C.)
委員 鈴木宗太郎
(長野R.C.)
委員 中根義雄
(岡崎南R.C.)

⑬ 地区大会決算 1982年度国際ロータリー第260地区年次大会決算報告書

(単位:円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
登 録 料	21,280,000	会員10,000×2,128名	事 務 所 賃 借 料	1,502,965	
登 録 料	1,936,000	家族 8,000× 242名	人 件 費	811,270	
地 区 補 助 金	19,754,000	3,500×5,644名	会 議 費	1,171,595	
地区資金補助金	1,900,000		通 信 費	294,690	
雑 収 入	387,500	出店料・祝儀・その他	印 刷 費	1,908,000	
利 息	194,468		雑 費	879,700	
合 計	45,451,968		総 務 委 員 会	8,521,277	

別表Ⅰ 希望晩さん会

(単位:円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
会 費	7,410,000	10,000円 ×741名	設営費	7,979,828	食事及び 舞台装置
補助金	1,889,828	年次大会 本会計より	余興費	1,320,000	
計	9,299,828		計	9,299,828	

別表Ⅱ 記念ゴルフ大会

(単位:円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
会 費	3,816,000	18,000円 ×212名	プレー代	3,788,090	
補助金	1,082,000	年次大会 本会計より	賞品代	765,700	
			雑 費	344,210	
計	4,898,000		計	4,898,000	

別表Ⅲ 救護・観光委員会

(単位:円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
会 費	731,000	観劇8,500×86名	観劇代	753,380	入場券及び食事
会 費	136,500	観光3,500×39名	観光代	326,000	入場料・バス代他
補助金	358,880	年次大会本会計より	救 護	50,000	お礼
			雑 費	97,000	チップ・その他
計	1,226,380		計	1,226,380	

昭和58年 3 月31日

会 計 足 立 正 樹 ㊞
(名古屋北R.C.)

大会幹事 水 野 勝 之 ㊞
(名古屋北R.C.)

⑪ 出席率・会員増強

年間出席率・会員増強一覧表

分 区	順 位		ク ラ ブ 名	平 均 出席率	会 員 数			分 区	順 位		ク ラ ブ 名	平 均 出席率	会 員 数		
	分区	地区			1982.7.1	1983.6.30	増減		分区	地区			1982.7.1	1983.6.30	増減
尾 張 第 一	1	1	名古屋名北	100.00	45	51	+ 6	三 河 第 二	1	14	豊 田	99.82	88	87	- 1
	1	1	名古屋名東	100.00	53	54	+ 1		2	15	安 城	99.80	72	72	0
	3	8	名古屋東南	99.97	80	80	0		3	25	岡 崎 南	99.56	74	77	+ 3
	3	8	名古屋和合	99.97	71	76	+ 5		4	30	岡 崎	99.48	84	88	+ 4
	5	12	名古屋北	99.87	102	96	- 6		5	31	豊 田 東	99.42	52	55	+ 3
	6	17	名古屋港	99.78	102	103	+ 1		6	34	碧 南	99.29	71	68	- 3
	7	22	名古屋瑞穂	99.61	58	60	+ 2		7	36	豊 田 西	99.16	73	73	0
	8	23	名古屋南	99.59	114	114	0		8	37	刈 谷	99.05	84	83	- 1
	9	39	名古屋東	99.01	98	92	- 6		9	50	西 尾	98.36	69	73	+ 4
	10	41	名古屋守山	98.86	75	79	+ 4		10	56	高 浜	97.85	45	43	- 2
	11	43	半 田 南	98.82	40	43	+ 3		11	57	岡 崎 東	97.57	60	57	- 3
	12	44	名古屋中	98.81	94	94	0		12	82	一 色	92.01	56	52	- 4
	13	45	名古屋千種	98.69	—	47	+47	東 北	1	39	輕 井 沢	99.01	38	41	+ 3
	14	48	名古屋西	98.49	142	132	-10		2	59	上 田 東	97.52	49	50	+ 1
	15	54	常 滑	98.00	58	56	- 2		3	60	長 野 南	97.10	32	31	- 1
	16	63	東 海	96.66	52	48	- 4		4	65	長 野	96.53	92	88	- 4
	17	64	半 田	96.59	62	63	+ 1		5	66	長 野 東	96.21	72	72	0
	18	69	名 古 屋	95.97	214	207	- 7		5	66	上 田	96.21	54	59	+ 5
	19	71	東 知 多	95.58	47	44	- 3		7	68	須 坂	96.08	38	42	+ 4
尾 張 第 二	1	1	犬 山	100.00	69	75	+ 6		8	73	戸倉上山田	95.41	41	38	- 3
	1	1	春 日 井	100.00	80	82	+ 2	信 南	9	77	南 佐 久	94.29	27	27	0
	3	8	小 牧	99.97	62	65	+ 3		10	79	中 野	94.00	47	46	- 1
	4	12	津 島	99.87	68	71	+ 3		11	83	小 諸	91.99	58	54	- 4
	5	19	江 南	99.74	66	65	- 1		12	84	佐 久	91.90	40	37	- 3
	6	20	尾 張 旭	99.67	46	48	+ 2		13	85	丸 子	90.66	40	40	0
	7	21	一 宮 北	99.64	74	73	- 1		1	11	松 本 南	99.92	77	76	- 1
	8	28	あ ま	99.51	72	73	+ 1		2	34	塩 尻	99.29	39	40	+ 1
	9	29	名古屋空港	99.49	66	68	+ 2		3	38	松 本	99.03	72	74	+ 2
	10	31	一 宮	99.42	82	82	0		4	49	松本西南	98.44	49	47	- 2
	11	33	稲 沢	99.41	50	52	+ 2	信 第 一	5	70	岡 谷	95.85	63	61	- 2
	12	41	瀬 戸 北	98.86	52	51	- 1		6	74	諏 訪	95.26	62	60	- 2
	13	47	西春日井	98.61	69	70	+ 1		7	75	白 馬	94.93	41	41	0
	14	51	瀬 戸	98.32	72	76	+ 4		8	76	大 町	94.46	60	59	- 1
	15	52	尾 西	98.28	51	53	+ 2		9	86	茅 野	88.76	26	26	0
	16	53	岩 倉	98.19	29	30	+ 1		10	87	木 曾	88.58	48	49	+ 1
三 河 第 一	1	24	豊 橋	99.57	116	117	+ 1		11	88	富 士 見	85.35	32	33	+ 1
	2	26	豊 橋 南	99.55	66	68	+ 2	南 信 第 二	1	1	飯 島	100.00	36	33	- 3
	3	27	豊 橋 北	99.53	100	101	+ 1		1	1	駒 ケ 根	100.00	61	60	- 1
	4	55	豊 川	97.89	77	78	+ 1		1	1	辰 野	100.00	49	49	0
	5	61	田 原	96.99	63	65	+ 2		4	16	飯 田 南	99.79	74	73	- 1
	6	62	新 城	96.95	46	47	+ 1		5	18	飯 田	99.76	78	84	+ 6
	7	72	蒲 郡	95.49	69	65	- 4		6	46	伊 那	98.67	80	82	+ 2
	8	78	渥 美	94.07	56	57	+ 1		7	58	松 川	97.56	52	51	- 1
	9	80	奥 三 河	93.59	50	52	+ 2		8	81	箕 輪	93.36	31	32	+ 1

分区分別年間平均出席率及び会員数

出席率 順 位	年間平均 出席率(%)	分 区		会 員 数		
		分 区 名	ク ラ ブ 数	1982年 7月1日	1983年 6月30日	増減
1	99.31	尾張第二	16	1,008	1,034	+26
2	98.65	尾張第一	19	1,507	1,539	+32
3	98.64	南信第二	8	461	464	+ 3
4	98.45	三河第二	12	828	828	0
5	97.05	三河第一	9	643	650	+ 7
6	95.02	東 北 信	13	628	625	- 3
7	94.53	南信第一	11	569	566	- 3
平 均	97.38	計	88	5,644	5,706	+62

出席優秀クラブ

順 位	年間平均出席率(%)	ク ラ ブ 名
第 1 位	100.00	名古屋名北
〃	100.00	名古屋名東
〃	100.00	犬 山
〃	100.00	春 日 井
〃	100.00	飯 島
〃	100.00	駒 ケ 根
〃	100.00	辰 野
第 8 位	99.97	名古屋東南
〃	99.97	名古屋和合
〃	99.97	小 牧
第11位	99.92	松 本 南
第12位	99.87	名 古 屋 北
〃	99.87	津 島
第14位	99.82	豊 田
第15位	99.80	安 城